skvam / 鳞 /「鱗(うろこ)」を表す簡体字 /

* + 選定理由: 「鳞」は「鱗」の簡体字であり、魚のうろこを示す最も標準的な表記。日本語の「鱗」とも関連が深く、意味を連想しやすい。
  + 学習コスト: やや画数は多めだが、魚の「うろこ」を表す漢字として中国語圏では頻出。類似する他の簡体字がなく独立性が高い。

1. delfen / 海豚 / イルカの標準的呼称 /
   * 選定理由: 中国語で「イルカ」は「海豚」が一般的。日本語圏から見ても「豚」は“ブタ”の字だが、「海豚」でイルカと読むのは比較的よく知られている。
   * 学習コスト: 「海」は他の海洋動物(海豹など)でも再利用できるため有用。「豚」は単体だと“豚(ぶた)”だが組み合わせとして覚えやすい。
2. leon / 狮 / ライオンを表す簡体字 /
   * 選定理由: 簡体字では「狮」(繁体:「獅」)がライオンを指す。「狮子」と2文字にしても良いが、単漢字「狮」でも十分に通じる。
   * 学習コスト: 日本語での「獅」と形が異なるが、中国語では頻出のため汎用性は高い。画数は中程度。
3. elefant / 象 / ゾウを表す常用字 /
   * 選定理由: 「象」は「ゾウ」を意味し、日本語でも同じ字を用いるため直感的にわかりやすい。
   * 学習コスト: 画数は多くなく、かつ日本語・中国語両方で共通認識の高い字。
4. kastor / 河狸 / ビーバーの一般的呼称 /
   * 選定理由: ビーバーは中国語で「河狸」が標準。日本語の「海狸(かいり)」などの表記もあるが、実際には「河狸」が一般的。
   * 学習コスト: 「河」は「川」同様に基本的な漢字。「狸」自体は日本語だと“タヌキ”系を連想するが、中国語でも比較的知られた字。
5. azen / 驴 / ロバを表す簡体字 /
   * 選定理由: 簡体字の「驴」(繁体:「驢」)はロバの意味で、中国語ではごく一般的。
   * 学習コスト: 日本語圏ではややなじみが薄いが、画数(4画)は少ない。
6. mul / 骡 / ラバを表す簡体字 /
   * 選定理由: 「骡」(繁体:「騾」)はラバを指す代表的な簡体字。
   * 学習コスト: 日本語ではほぼ見かけないが、中国語では頻度のある語彙。「马(馬)」偏(へん)なので“ウマ科動物”と連想しやすい。
7. boa / 蟒蛇 / ボア(大型のヘビ)を表す一般名称 /
   * 選定理由: 「蟒蛇」は中国語で“大型のヘビ(ニシキヘビ類)”の総称。ボアやパイソンを広く含む。
   * 学習コスト: 2文字だが「蛇」は「ヘビ」で覚えやすく、のちに「毒蛇」などにも流用可能。「蟒」はやや画数が多いが、大型ヘビを表す標準語として妥当。
8. pavian / 狒狒 / ヒヒの標準呼称 /
   * 選定理由: 中国語でヒヒは「狒狒」が一般的。単漢字「狒」が2つ重なる形が特徴。
   * 学習コスト: 「狒」は頻度が高くはないが、動物名としては固定の表記なので混乱は少ない。
9. kobaj / 豚鼠 / モルモット(ギニーピッグ) /

* 選定理由: 「豚鼠」はモルモットを指す標準的な中国語表記。文字通り“ブタ＋ネズミ”。
* 学習コスト: 「豚」「鼠」はどちらも常用の範囲。既出の「海豚」と「鼠」系(後述)との関連で覚えやすい。

1. marmot / 土拨鼠 / マーモット(ウッドチャック) /

* 選定理由: 中国語でマーモットやグラウンドホッグは「土拨鼠」が最も一般的。
* 学習コスト: 「土」「拨」「鼠」で構成。すでに「鼠」は出ているため一部は再利用可能。「拨」はやや画数が多いが、比較的汎用漢字。

1. dog / 獒 / マスチフ(大型犬)を示す単漢字 /

* 選定理由: 「獒」はチベタン・マスチフなど“大型猛犬”を指す代表的な字。中国語圏で「藏獒(チベタンマスチフ)」などに広く使われる。
* 学習コスト: 画数は多めかつややマイナーだが、“大型犬”の概念を1文字で示せるのが利点。もし難しければ「斗牛犬(ブルドッグ)」などの熟語化も可。

1. vipur / 毒蛇 / 毒ヘビ(マムシなどの総称) /

* 選定理由: 単漢字「蝮」もあるが、「毒蛇」は文字通り“毒を持つヘビ”とわかりやすく、日本語圏にも伝わりやすい。
* 学習コスト: 「毒」「蛇」はいずれも比較的頻度の高い漢字。「蛇」は「蟒蛇」との共通要素でもあり再学習が少なくなる。

1. mustel / 黄鼠狼 / イタチ類の一般呼称 /

* 選定理由: 中国語ではイタチやオコジョ類を総じて「黄鼠狼」と呼ぶことが多い。単漢字「鼬」はややマイナー。
* 学習コスト: 3文字だが、「黄」「鼠」「狼」はいずれも割と基本的で、すでに「鼠」は再利用可。

1. meduz / 水母 / クラゲの一般呼称 /

* 選定理由: 中国語でクラゲは「海蜇」や「水母」などがあるが、「水母」は画数が少なく分かりやすい(“水の母”)。
* 学習コスト: 「水」「母」はどちらも最も基本的な常用字で、学習コストは低い。

1. mitul / 青口贝 / ムール貝(イガイ)の一種 /

* 選定理由: 中国大陸や広東方面でムール貝を「青口(贝)」と呼ぶことが多い。「贻贝」という表記もあるが、「贻」はややマイナー。
* 学習コスト: 「青」「口」「贝」はいずれも画数が少なく、再利用も見込める。

1. omar / 龙虾 / ロブスターを表す標準呼称 /

* 選定理由: 中国語でロブスターは「龙虾」が一般的(“竜のエビ”と表現)。
* 学習コスト: 「龙」は画数少なめ(繁体「龍」より簡単)、「虾」はすでに「海虾」「虾仁」などでも見られる常用字。

1. histrik / 豪猪 / ヤマアラシの標準呼称 /

* 選定理由: 中国語でヤマアラシは「豪猪」が最も代表的な呼び方。
* 学習コスト: 「豪」はやや画数多めだが、単語としては2文字で完結。「猪」は「海豚(豚)」「黄鼠狼(鼠)」などと同じ動物系偏旁で連想しやすい。

1. teni / 绦虫 / サナダムシ(条虫)の一般呼称 /

* 選定理由: 中国語で“サナダムシ”に相当する寄生虫は「绦虫」が標準的。学術的には「条虫」と書く場合もある。
* 学習コスト: 「绦」はあまり日常的ではないが、医学用語としては一般的。「虫」は基本漢字で再利用可。

1. lumbrik / 蚯蚓 / ミミズの標準呼称 /

* 選定理由: 中国語でミミズは「蚯蚓」が広く使われる。
* 学習コスト: 2文字とも「虫」偏を含むため関連付けて覚えやすいが、画数はそこそこ多い。

1. molusk / 软体动物 / 軟体動物を意味する標準表記 /

* 選定理由: “軟体動物”に相当する中国語は「软体动物」が最も普通。
* 学習コスト: 4文字だが、いずれも日常で目にする比較的頻度の高い漢字。

1. fok / 海豹 / アザラシの標準呼称 /

* 選定理由: 中国語でアザラシは「海豹」。文字通り“海のヒョウ”というイメージ。
* 学習コスト: 「海」は再利用が期待できる常用字。「豹」は「狮」「狗(犬)」などと同じ“犭”偏(けものへん)でまとまりがある。

1. talp / 鼹鼠 / モグラの標準呼称 /

* 選定理由: 中国語でモグラは「鼹鼠」が一般的(“鼹(えん) + 鼠”)。
* 学習コスト: 「鼹」はやや画数が多いが、「鼠」とセットで動物のイメージを固めやすい。

1. vespert / 蝙蝠 / コウモリの標準呼称 /

* 選定理由: 「蝙蝠」は中国語でコウモリの代表的な言い方。日本語でも“変わった虫偏の字”として存在は知られている。
* 学習コスト: 2文字とも虫偏で画数多めだが、他に代替が少ないため標準表記を採用。

1. salamandr / 蝾螈 / サンショウウオの標準呼称 /

* 選定理由: 一般的にサンショウウオ・イモリ類を「蝾螈」と総称する。日本のオオサンショウウオは別名「娃娃鱼」などもあるが、総称としてはこれが定番。
* 学習コスト: どちらも画数が多いが、専門用語として定着した組み合わせ。

koral / 珊瑚 /選定理由: **サンゴを表す標準的な語として「珊瑚」は日中双方で広く通用する。**学習コスト: **単一文字での対応は困難。「珊」「瑚」どちらか片方では通じにくいため2文字熟語を採用。どちらもやや画数は多めだが、他で使い回しにくい語根ゆえ、妥協して割当。**

1. didelf / 负鼠 /  
   選定理由: フクロネズミ(オポッサム)の中国語標準表記は「负鼠」。  
   学習コスト: 「鼠」は他のネズミ系語根で再利用可能。「负」は比較的画数も少なく頻出度もそこそこ高い。
2. sorik / 尖鼠 /  
   選定理由: トガリネズミは中国語標準では「鼩鼱(きゅうきん)」だが画数が多く難読。意味を類推しやすいよう、「尖(とがった)＋鼠」で“トガリネズミ”を造語的に表現。  
   学習コスト: 「尖」「鼠」いずれも常用字であり、再利用しやすい(「鼠」は特に汎用性高い)。
3. miogal / 麝鼠 /  
   選定理由: ジャコウネズミ(ムスクラット等)は「麝香鼠」「麝鼠」と表記。「麝鼠」が比較的簡潔。  
   学習コスト: 「鼠」は既出再利用可。「麝」はやや画数が多い(14画)が、他候補が見当たらないため割当。
4. hamstr / 仓鼠 /  
   選定理由: ハムスターの中国語は「仓鼠」で定着している。  
   学習コスト: 「仓」は4画で比較的シンプル。「鼠」は再利用しやすい。
5. mamut / 猛犸象 /  
   選定理由: マンモスは中国語で「猛犸象」が一般的。  
   学習コスト: 3文字とやや多いが、いずれも比較的認知度は高い。「象」は他でも“ゾウ”として転用可。「猛」「犸」はマンモス専用になりがちだが、単字では対応が困難。
6. pul / 蚤 /  
   選定理由: ノミは中国語で「跳蚤」が常用だが、「蚤」1字でも「ノミ」を指す。  
   学習コスト: 1文字の方が画数を抑えられる(「跳」も使わずに済む)。ただし多少古風な印象はある。
7. hirud / 蛭 /  
   選定理由: ヒルは「水蛭」「蛭」と書くが、単字「蛭」でも意味が通る。  
   学習コスト: 1文字化で簡潔。「水蛭」に比べ字数削減。
8. putor / 鼬 /  
   選定理由: ポールキャット(ヨーロッパケナガイタチ)を厳密に示す単語は複数あるが、総称的にイタチ類を表す「鼬」を暫定割当。  
   学習コスト: 「鼬」(10画)のみでシンプル。厳密さはやや欠くが、他に画数の少ない候補が少ない。
9. mops / 哈巴狗 /  
   選定理由: 「mops」は「パグ」を指し、中国語では「哈巴狗」(または「巴哥犬」)が一般的。  
   学習コスト: 3文字ではあるが、いずれも比較的日常的な簡体字。パグ専用なので転用性は低め。
10. pudel / 贵宾犬 /  
    選定理由: 「プードル」は中国語で「贵宾犬」が定訳。  
    学習コスト: 3文字になりがちだが、犬種名としては妥当。画数は「贵」「宾」「犬」で合計そこそこ。
11. kapreol / 狍 /  
    選定理由: ノロ(roe deer)を指す中国語は「狍子」が一般的だが、単字「狍」でも指せる。  
    学習コスト: 画数は8画と比較的少なく、1文字で済む点が利点。「子」を付けず簡潔化。
12. rinocer / 犀牛 /  
    選定理由: サイは「犀牛」が標準表現。「犀」単字でも「サイ」を指す場合があるが、分かりやすさ重視で2文字。  
    学習コスト: 「牛」は後々“ウシ”などでも再利用可能。
13. alk / 驼鹿 /  
    選定理由: 「elk/moose」の中国語は「驼鹿」(主にヘラジカを指す)。  
    学習コスト: 「驼」(8画)と「鹿」(11画)の2文字。鹿を表す「鹿」はシカ類全般で今後も転用可能。
14. link / 山猫 /  
    選定理由: オオヤマネコ(lynx)の標準は「猞猁」だが画数が多い。意味連想のしやすさと簡便さから「山猫」を採用。  
    学習コスト: 「山」「猫」はどちらも汎用性が高い常用字。
15. vulp / 狐 /  
    選定理由: キツネは「狐狸」とも書くが、単字「狐」でも充分に“狐”を指す。  
    学習コスト: 1文字で済むため、学習負荷を抑えられる。
16. lepor / 野兔 /  
    選定理由: 野ウサギ(hare)を明示するため「野兔」を採用。  
    学習コスト: 「兔」は今後イエウサギとも共有可能。「野」は常用字で意味も分かりやすい。
17. kunikl / 家兔 /  
    選定理由: イエウサギ(家兎)はそのまま「家兔」で表せる。  
    学習コスト: 「家」「兔」いずれも常用字。「兔」は既出(野兔)との再利用で学習負担を低減。
18. testud / 龟 /  
    選定理由: カメ全般を示す簡体字「龟」(伝統字は「龜」)を採用。  
    学習コスト: 1文字で意味が通じ、画数も7画とそこまで多くない。
19. ran / 蛙 /  
    選定理由: カエルは「蛙」または「青蛙」が基本だが、単字「蛙」でも十分通用。  
    学習コスト: 1文字で済む。「青」を省略することで画数削減。
20. lacert / 蜥蜴 /  
    選定理由: トカゲ類を指す一般名称が「蜥蜴」。  
    学習コスト: 2文字で合計画数はやや多い(「蜥」14画＋「蜴」9画)。しかし標準表記ゆえ採用。
21. sciur / 松鼠 /  
    選定理由: リスは中国語で「松鼠」が最も一般的。  
    学習コスト: 「松」(8画)＋「鼠」(13画)。どちらも比較的よく使う字で、特に「鼠」は他でも再利用。
22. mus / 家鼠 /  
    選定理由: ハツカネズミ(house mouse)は「家鼠」と呼ぶのが分かりやすい。  
    学習コスト: 「家」は既出(家兔など)で再利用。「鼠」も他語根で共有。
23. rat / 老鼠 /  
    選定理由: 一般的なネズミ(ラット)は中国語で「老鼠」。  
    学習コスト: 「老」(6画)は常用字。「鼠」と合わせて2文字だが、中国語で最も通じる形。
24. panter / 豹 /  
    選定理由: ヒョウやパンサーに該当。「豹子」とも書くが、単字「豹」でも意味は通る。  
    学習コスト: 1文字に集約し画数(10画)を抑えた。

hipopotam/河马/中国語でカバを指す標準語。直訳は「川の馬」/「河」「马」はどちらも常用字で学習しやすい

1. serpent/蛇/「ヘビ」を表す単字/単独1文字で意味が通じ、画数も比較的少ない(11画)
2. simi/猴/サル・猿類を表す常用字の一つ/「猿」より画数がやや少なく(12画)比較的頻出度も高い
3. arane/蜘蛛/クモを指す標準語/単一字で「クモ」を表す用法は無く、熟語「蜘蛛」が一般的
4. leopard/豹/ヒョウ・レパードを表す単字/10画で比較的覚えやすく、日本語でも「豹」で通じる
5. ŝakal/豺/ジャッカルの意味を含む字。しばしば野犬類やジャッカルを指す/8画と少なく、1文字で対応可能
6. mel/獾/アナグマを指す標準的な漢字/やや画数(14画)は多いが単字として辞書に載るため妥当
7. buf/蟾蜍/ヒキガエルを指す標準的な表現/1文字での対応が無く、熟語「蟾蜍」がよく使われる
8. erinac/刺猬/ハリネズミを指す標準的な表現/単字「猬」だけでは通じにくく、「刺猬」が一般的
9. zebr/斑马/シマウマの意味の中国語/「斑(まだら)」＋「马(ウマ)」で日本語話者にもイメージしやすい
10. lutr/水獭/カワウソを指す一般的な呼称/「獭」単字でも意味は通じるが、「水獭」の方が分かりやすい
11. antilop/羚羊/広く「アンテロープ類」を指す漢語/2文字とも常用で、カモシカ等も「○○羚羊」と呼ぶことがある
12. kamel/骆驼/ラクダを指す標準語/2文字熟語だが常用度は高く、日本語でも「駱駝」と書く
13. ĉam/岩羚羊/カモシカ(特にシャモア)に相当/「岩」「羚」「羊」は既出・今後の動物名とも偏旁を共有しやすい
14. regol/戴菊鸟/キクイタダキ(ゴールドクレスト)の中国名/3字と長いがこれが比較的ポピュラーで正式
15. kornik/灰背乌鸦/コガラス(hooded crow)を指す一般的名称/「乌鸦」を含むため“カラス類”と分かりやすい
16. merl/乌鸫/クロウタドリを指す中国語名/「乌」(黒)＋「鸫」で黒いツグミの仲間という意味合い
17. tetr/黑琴鸡/クロライチョウ(black grouse)/「松鸡」「榛鸡」等もあるが、黒ライチョウは「黑琴鸡」が一般的
18. frugileg/秃鼻鸦/ミヤマガラス(rook)の一般名称の一つ/「秃鼻(ハゲ鼻)＋鸦」で外見の特徴が分かる
19. moned/寒鸦/コクマルガラス(jackdaw)を指す中国語名/「寒(寒冷地に多い)＋鸦」で短くまとまっている
20. garol/松鸦/カケス(ユーラシアジェイ)を指す最も一般的な名称/「松」は森、「鸦」はカラス科で関連付けやすい
21. urogal/松鸡/オオライチョウ(capercaillie)の通称/単に「松鸡」と総称されることが多く、同属の意も含む
22. oriol/黄鹂/コウライウグイス(総称的にはオリオール)/「黄(黄色い)＋鹂」で中国語で“ウグイス科”と区別しやすい
23. arde/苍鹭/アオサギ(グレイヘロン)を指す中国語名/「青(灰)っぽい鷺」のイメージで日中とも把握しやすい
24. hortulan/园田鹀/アオジ(ortolan bunting系)を指す場合の中国名の一例/「鹀(ホオジロ科)」に属する意が伝わる

pav / 孔雀 / 中国語・日本語ともに標準的な名称でわかりやすい / 2文字だが「孔」「雀」は他でも再利用しうる汎用的な漢字

* kok / 鸡 / 中国語で鶏を指す最も基本的な簡体字 / 画数も少なく学習しやすい
* bird / 鸟 / 「鳥」の簡体字で、中国語では鳥全般を意味 / 単独1文字で「鳥」を表すため学習コストが低い
* anas / 鸭 / アヒルを指す標準的な簡体字 / 画数9画と比較的少なく、他の鳥偏(鸟)系列と共通性あり
* agl / 鹰 / ワシ・タカ類を指す標準的な簡体字 / やや画数は多めだが、中国語圏では広く通用する
* kolomb / 鸽 / ハトを意味する標準簡体字 / 「鸟」偏を含むため学習連想がしやすい
* gru / 鹤 / ツルを指す簡体字 / 画数10画ほどだが、日本語「鶴」とも対応が取りやすい
* strut / 鸵鸟 / ダチョウの中国語名(简体)として一般的 / 「鸵」は「鳥」偏を含む1文字だが認知度が低いため、「鸵鸟」と2文字で提示
* cign / 天鹅 / 白鳥の中国語名で標準的 / 「鹅」単独だと「ガチョウ(Goose)」になるため区別優先で2文字表記
* anser / 鹅 / ガチョウを指す簡体字 / 上記(天鹅)との対比で「鹅」を単独使用し意味を明確化
* sturn / 椋鸟 / ムクドリの中国語名 / 「椋」はやや画数多めだが、中国語圏では標準用法
* vanel / 麦鸡 / タゲリ(“lapwing”)を指す一つの通称「麦鸡」 / 「鸡」は既出利用。「麦」は常用字で学習コストも比較的低い
* meleagr / 火鸡 / 七面鳥(ターキー)の中国語名 / 「火」と「鸡」は共に高頻度字で学習しやすい
* perdrik / 石鸡 / パートリッジ(シャコ)の一種を指す呼称の一つ / 「石」(新出)＋「鸡」(既出)で画数を抑えつつ通じる
* papili / 蝶 または「蝶」単独 / 本来「蝴蝶」と2文字だが、簡略化しても中国語・日本語とも“蝶”で通じる / 新出1文字だが虫偏を含み虫類と関連付け可能
* kolibr / 蜂鸟 / ハチドリの中国語名として標準 / 「蜂」はやや画数多め(10画)だが比較的高頻度、「鸟」は既出
* papag / 鹦鹉 / オウムを指す中国語名 / 2文字とも初出だが標準的表記で知名度も高い
* pig / 喜鹊 / カササギ(マグパイ)の中国語名 / 「喜」は常用漢字、「鹊」も“鸟”偏を含み他と関連付け可能
* fazan / 野鸡 / キジ類を意味する名称 / 「鸡」は既出、「野」は常用かつ基本部首「里」派生で学習しやすい
* falk / 隼 / ハヤブサ・タカの一種を表す単字 / 画数は10画程度だが、中国語での「隼」は比較的知られた表記
* pirol / 灰雀 / ブルフィンチ類(ウソ)の中国語名の一部に含まれる / 「灰」は初出だが6画と少なく、「雀」は孔雀などで既出
* peg / 啄木鸟 / キツツキの標準的呼称 / 3文字だが「啄(ついばむ)＋木＋鸟」と構造が明快
* skolop / 山鹬 / ウッドコック類の一種 / 「山」は基礎字、「鹬」は「鸟」偏を含むため鳥関連とわかりやすい
* cikoni / 鹳 / コウノトリを指す簡体字 / 画数多め(約21画)だが、標準表記で中国語圏では認知度が高い
* paser / 麻雀 / スズメを意味する標準的名称 / 「麻」は新出だが常用度が高く、「雀」は既出活用

vultur / 秃鹫 /選定理由: **中国語でハゲタカは一般的に「秃鹫」と表記される。日本語の「禿鷹」ともイメージが近い。**学習コスト: **「秃(禿)」は「髟(かみかんむり)」を簡略化した形で比較的頻出。「鹫」はやや画数多めだが、猛禽類として定着した表記。**

* kukol / 杜鹃 /  
  選定理由: カッコウは中国語で「杜鹃」が通称。「杜鵑(とけん)」は日本語でも見られ、連想しやすい。  
  学習コスト: 「杜」「鹃」はどちらも中日で見かける漢字。「鹃」は鳥偏(鹵＋鳥の簡略)を含み画数はやや多め。
* strig / 猫头鹰 /  
  選定理由: フクロウ全般を中国語では「猫头鹰」と呼ぶのが最も一般的。「猫の頭をした鷹」のイメージで通じやすい。  
  学習コスト: 三文字だが、中国語では非常にポピュラー。日本語話者も「猫」「頭」「鷹」でイメージをつかみやすい。
* ibis / 朱鹮 /  
  選定理由: トキ(特にニッポニア・ニッポン)は中国語では「朱鹮」が定着。朱色の体色と「鹮(トキ)」の組み合わせ。  
  学習コスト: 「朱」は常用。「鹮」はややマイナーだが「鳥」へん(鹭など)と同系統で覚えやすい。
* guf / 雕鸮 /  
  選定理由: ワシミミズク(Bubo属)は中国語で「雕鸮」と表記されることが多い。猛禽の「雕」とフクロウを意味する「鸮」。  
  学習コスト: 「雕」「鸮」はどちらも画数は中程度だが、フクロウ系猛禽としてセットで覚えやすい。
* kolimb / 潜鸟 /  
  選定理由: アビ(loon, diver)は中国語で「潜鸟」と呼ばれる。水中に潜る鳥の意が分かりやすい。  
  学習コスト: 「潜」は“潜水”などで頻出。「鸟」は簡体字で5画なので比較的学びやすい。
* hirund / 燕 /  
  選定理由: ツバメは中国語で単独の一文字「燕」が一般的。日本語の「燕」と同形で分かりやすい。  
  学習コスト: 一文字で完結し、画数も比較的少なめ。
* koturn / 鹌鹑 /  
  選定理由: ウズラは中国語で「鹌鹑」が標準。  
  学習コスト: どちらも鳥偏を含む。画数はややあるが、中華圏では通用度が高い組み合わせ。
* milv / 黑鸢 /  
  選定理由: トビ(black kite)は中国語で「黑鸢」または「黑鳶」とも書く。ここでは簡体「黑鸢」を採用。  
  学習コスト: 「黑(黒)」は常用漢字。「鸢」はやや珍しいが、猛禽類の一種として定着。
* turt / 斑鸠 /  
  選定理由: キジバトなどの「○○バト」系は中国語で「斑鸠」と総称される場合が多い。  
  学習コスト: 「斑」は“斑点”で頻出。「鸠」は鳥を表す字(旧「鳩」)。比較的覚えやすい。
* noktu / 灰林鸮 /  
  選定理由: コフクロウ(タウニー・オウル)は中国語で「灰林鸮」と呼ばれる。「灰色の林に棲むフクロウ」の意。  
  学習コスト: 「灰」「林」は初級漢字。「鸮」はフクロウを示す字として再登場。
* tetra / 榛鸡 /  
  選定理由: エゾライチョウ(ハーゼルグラウス)は中国語で「榛鸡」が標準的(直訳:“ハシバミの鶏”)。  
  学習コスト: 「榛」は木編でやや画数多め。「鸡」は簡体で画数少なめ。
* akcipitr / 鹰 /  
  選定理由: タカ属(Accipiter)は中国語で一般に「鹰」(単独で“タカ/ワシ”等猛禽類全般)とも表せる。  
  学習コスト: 一文字で済むが、やや画数は多い。猛禽類として汎用度が高い字。
* niz / 雀鹰 /  
  選定理由: ハイタカ(Eurasian sparrowhawk)は中国語で「雀鹰」。小型タカとして「雀(スズメ)＋鹰(タカ)」。  
  学習コスト: 「雀」は別項(燕雀など)でも登場。「鹰」はすでに(13)で使用。
* fring / 燕雀 /  
  選定理由: アトリ(Brambling)は中国語で「燕雀」。ツバメのような姿勢…というわけではないが、名称として定着。  
  学習コスト: 「燕」は(7)ツバメで既出。「雀」も(14)で既出。
* alcion / 翠鸟 /  
  選定理由: カワセミ(Kingfisher)は中国語で「翠鸟」が最も一般的(緑色がかった鮮やかな鳥)。  
  学習コスト: 「翠」はやや画数多めだが、色名として比較的ポピュラー。「鸟」は既出。
* mev / 海鸥 /  
  選定理由: カモメは中国語で「海鸥」。海辺の鳥として日中いずれも連想しやすい表記。  
  学習コスト: 「海」は頻出漢字、「鸥」は鳥偏(区別用)で「欧」に近い形。
* korv / 乌鸦 /  
  選定理由: カラスは中国語で「乌鸦」。日本語の「烏」とほぼ同形。「鸦」は鳥偏の一種。  
  学習コスト: 「乌」は画数が非常に少なく便利。「鸦」も(鳥＋牙)で覚えやすい。
* alaŭd / 云雀 /  
  選定理由: ヒバリは中国語で「云雀」。日本語でも「雲雀(ひばり)」。  
  学習コスト: 「云」は画数が少なめ。「雀」は既出。
* najtingal / 夜莺 /  
  選定理由: ナイチンゲールは中国語で「夜莺」が通称。夜に鳴くウグイス様の鳥として認知度が高い。  
  学習コスト: 「夜」は常用、「莺」は鳥を表す「莺(鶯)」の簡体で、やや画数多め。
* paru / 山雀 /  
  選定理由: シジュウガラ(Parus属)は中国語で「山雀」と総称されることが多い(大山雀など)。  
  学習コスト: 「山」は初級漢字、「雀」は既出。短くまとめられる。
* kardel / 金翅雀 /  
  選定理由: ゴシキヒワ(goldfinch)は中国語で「金翅雀」と表記されることがある(“金色の翼のスズメ”).  
  学習コスト: 「金」は頻出、「翅」は鳥の羽を示す要素で中程度の画数。「雀」は既出。
* kokcinel / 七星瓢虫 /  
  選定理由: ナナホシテントウ(七星テントウムシ)は中国語で「七星瓢虫」が標準的(“7つの星を持つ瓢虫”).  
  学習コスト: 「七星」は基礎字。「瓢虫」は“テントウムシ”を意味。虫偏なので他の昆虫にも転用しやすい。
* silvi / 林莺 /  
  選定理由: シルビア属の小鳥(主にヨーロッパ産のウグイス科)は中国語で「林莺」などと総称する例がある。  
  学習コスト: 「林」はごく基本的。「莺」は(20)夜莺と同じ字を再利用できるので関連づけやすい。
* skarab / 独角仙 /  
  選定理由: カブトムシ(カブト虫)は中国語で「独角仙」が一般的(“一本角の仙人”のイメージ)。  
  学習コスト: 「独」「角」「仙」はいずれも初中級程度。虫を直接表す字ではないが、中国語としては認知度が高い。

kantarid / 甲虫 /

* + 選定理由: ハンミョウはコウチュウ目(甲虫)の一種。漢字「甲虫」は中日双方で「コウチュウ類」を示すため比較的わかりやすい。
  + 学習コスト: 「甲(5画)」+「虫(6画)」=計11画で比較的少なめ。コウチュウ全般に流用可。

1. burd / 蜂 /
   * 選定理由: マルハナバチはハチの一種。単に「蜂」を用いれば中日双方で「ハチ類」と直感しやすい。
   * 学習コスト: 13画。すでに他の「蜂」関連で転用可能。
2. taban / 虻 /
   * 選定理由: アブ(horsefly)を示す標準的な一文字。「虻」は日中双方で「アブ」を表しやすい。
   * 学習コスト: 9画と比較的簡単。虫偏を含むため他の虫関連と関連づけやすい。
3. lampir / 萤 /
   * 選定理由: ホタル(firefly)の簡体字表記は「萤」(日本の「蛍」の簡体字)。
   * 学習コスト: 11画(「艹」+「火」部)。日本人には旧字「蛍」と対応付けがしやすい。
4. alg / 藻 /
   * 選定理由: 藻類を示す最も直接的な一字。「海藻」などにも使われ、日中両言語話者に馴染みがある。
   * 学習コスト: 19画とやや多めだが、藻類を表す字としては一般的。
5. spong / 海绵 /
   * 選定理由: 海綿動物やスポンジを表す標準的な簡体字表記。「海綿」の簡体字が「海绵」。
   * 学習コスト: 「海(10画)」+「绵(11画)」=計21画。語彙としては日中で対応が取りやすい。
6. akrid / 蝗 /
   * 選定理由: イナゴ・バッタ類(特に大量発生する“蝗害”の「蝗」)として認知度が高い。
   * 学習コスト: 15画。虫偏に属するので他の虫関連とのつながりは把握しやすい。
7. formik / 蚁 /
   * 選定理由: アリを表す簡体字(繁体字「蟻」の簡体形)。中日ともに「アリ」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 10画(「虫」+「义」)。虫偏仲間で覚えやすい。
8. cikad / 蝉 /
   * 選定理由: セミを表す最も一般的な簡体字(日本の「蝉」と同形)。
   * 学習コスト: 10画。虫偏で一貫性あり。
9. termit / 白蚁 /

* 選定理由: シロアリは中国語で「白蚁」が標準。日本語話者も直感的に「白いアリ」と理解しやすい。
* 学習コスト: 「白(5画)」+「蚁(10画)」=計15画。要素は比較的シンプル。

1. libel / 蜻蜓 /

* 選定理由: トンボを指す最も代表的な中国語表現。「蜻蜓」は日中ともに辞書等で一般的。
* 学習コスト: 「蜻(14画)」+「蜓(13画)」=計27画とやや多めだが、昆虫名として広く認知されている。

1. turd / 鸫 /

* 選定理由: ツグミ科(Thrush)の鳥を表す漢字。「鸫」は中国語でも「ツグミ」を指す。
* 学習コスト: 10画(「冬」+「鸟」)。やや珍しい字だが、中日でツグミ科と結びつきやすい。

1. krabr / 蜂 /

* 選定理由: スズメバチ(またはホーネット)も広義では「蜂」なので共通文字を流用。
* 学習コスト: すでに「蜂」を使用済み。重複利用で学習負担を抑えられる。

1. gril / 蟋蟀 /

* 選定理由: コオロギは中国語で一般的に「蟋蟀」と書く。日本でも同字が宛てられる。
* 学習コスト: 「蟋(17画程度)」+「蟀(17画程度)」で合計30画超と多いが、定着度は高い。

1. kokon / 茧 /

* 選定理由: 繭(まゆ)の簡体字表記。日本の「繭(まゆ)」に対応しやすい。
* 学習コスト: 9画。比較的シンプル。

1. fung / 菌 /

* 選定理由: キノコ類や真菌を広く指す際によく使われる「菌」。日中とも「菌」=カビ・キノコのイメージが強い。
* 学習コスト: 11画。「草かんむり(艹)」系の中ではまだ少画数。

1. moskit / 蚊 /

* 選定理由: 蚊の最も一般的な一文字表記。日本でも「蚊」の旧字体として通じやすい。
* 学習コスト: 10画(「虫」+「文」)。虫偏で覚えやすい。

1. kul / 蚊 /

* 選定理由: 同じく蚊を表すため、上記と同一の「蚊」を再利用。
* 学習コスト: 既出文字を再利用するため負担なし。

1. verm / 虫 /

* 選定理由: ミミズやイモムシ等の「虫」一般を表すので、最も基本的な「虫」をあてる。
* 学習コスト: 6画。最頻出の部首でもあり、学習しやすい。

1. larv / 幼虫 /

* 選定理由: 幼虫をそのまま端的に表す「幼虫」は中国語でも通じる。
* 学習コスト: 「幼(5画)」+「虫(6画)」=計11画。要素は簡単で分かりやすい。

1. raŭp / 毛虫 /

* 選定理由: 毛のあるイモムシ(ケムシ)のイメージで日中ともに「毛虫」は直感的。
* 学習コスト: 「毛(4画)」+「虫(6画)」=計10画。字数が少なく覚えやすい。

1. akar / 螨 /

* 選定理由: ダニを示す簡体字。「螨(繁体: 蟎)」が中国で標準的。
* 学習コスト: 16画とやや多いが、他に単字が少ないためやむを得ず。

1. insekt / 昆虫 /

* 選定理由: 昆虫全般を指す最も基本的な表記。「昆虫」は日中いずれも同義。
* 学習コスト: 「昆(8画)」+「虫(6画)」=14画。すでに「虫」活用済みで関連がわかりやすい。

1. vesp / 蜂 /

* 選定理由: 「vesp」はアシナガバチやスズメバチ等、広義の“wasp”。すでに「蜂」を共通で使用中。
* 学習コスト: 既出「蜂」を再用。追加負担なし。

1. tine / 衣鱼 /

* 選定理由: 原文に[虫]衣魚(シミ)とあるが、実際は「silverfish」。中国語で「衣鱼」が通称。
* 学習コスト: 「衣(6画)」+「鱼(8画)」=計14画。魚偏が簡体字の「鱼」なので比較的シンプル。

cim **/** 虫 **/  
　-** 選定理由**: 「なんきん虫」など広義の“虫(バグ)”を指す語根。汎用的に「虫」を割り当ててしまえば、日本人・中国人とも「虫＝小さな生き物」のイメージを得やすい。  
　-** 学習コスト**: 「虫」は画数も少なく、今後「虫」偏を使う他の語根(蝇, 蜂など)とも関連づけ可能。**

1. muŝ / 蝇 /  
   　- 選定理由: 「ハエ」を指す最も標準的な1字表記。中国語の「苍蝇」から、「蝇」単独でも「ハエ」の意味を持つ。  
   　- 学習コスト: 左が「虫」偏であるため、(1)と関連づけて覚えやすいが、やや画数は増える。
2. abel / 蜂 /  
   　- 選定理由: 「ミツバチ」。中国語では「蜜蜂」だが、簡潔に1文字で「蜂」。  
   　- 学習コスト: やはり「虫」偏を含むため、「蝇」と似た構造。(1)(2)とまとめて習得しやすい。
3. fagot / 大管 /  
   　- 選定理由: ファゴット(バスーン)を中国語では「巴松管」や「大管」とも呼ぶ。「大管」は比較的短く、中国語圏でも通じやすい。  
   　- 学習コスト: 「大」は画数3画、「管」はやや多いが、後述の「笛」「筒」など他の単語との関連が期待できる。
4. fanfar / 号角 /  
   　- 選定理由: 「ファンファーレ」＝「ラッパやホルンの鳴り響く音」を連想しやすい。中国語で「号角」は「角笛・ホルン」的ニュアンスがあり、ファンファーレにも近い。  
   　- 学習コスト: 「号」は後述の「小号(トランペット)」などにも再利用可能。「角」も比較的常用。
5. flan / 布丁 /  
   　- 選定理由: 厳密には「フラン(洋菓子)」だが、中国語で近似的なプリン系スイーツは「布丁(pudding)」と総称されることが多い。  
   　- 学習コスト: 「布」(5画)＋「丁」(2画)で計7画と比較的少なく、簡潔。
6. flanel / 法兰绒 /  
   　- 選定理由: フランネルは中国語で「法兰绒」が定訳。  
   　- 学習コスト: 3文字だが、いずれも比較的頻出の漢字(「法」「兰」「绒」)で構成される。
7. frank / 法郎 /  
   　- 選定理由: 通貨「フラン」の中国語表記が「法郎」(音写)。フランス(France)の「法」と同じ漢字を用いる。  
   　- 学習コスト: 「法」は(7)「法兰绒」にも登場し、重複利用可能。「郎」も比較的よく使われる。
8. floren / 弗罗林 /  
   　- 選定理由: 古い通貨「フロリン」の音写として「弗罗林」が用いられる例がある(「佛罗林」など揺れもあり)。  
   　- 学習コスト: 「弗」「罗」「林」はいずれも中国語では比較的常見の漢字。
9. falang / 方阵 /  
   　- 選定理由: 「密集方陣」を意味する語根。中国語で「方阵」は「方形の陣形」を表し、軍事的な「ファランクス」(phalanx)の訳にも用いられる。  
   　- 学習コスト: 「方」は3画、「阵」は6画(簡体字)でシンプル。
10. parafin / 石蜡 /  
    　- 選定理由: パラフィンは中国語で「石蜡(＝石のロウ)」。  
    　- 学習コスト: 「石」は初級レベル、「蜡」は「虫」偏を含むがやや画数は多め。ただし他の化学用語でも登場可能。
11. relief / 浮雕 /  
    　- 選定理由: 浮き彫り(レリーフ)は中国語で「浮雕」が定訳。  
    　- 学習コスト: 「浮」(10画)＋「雕」(11画)で合計21画だが、美術用語としては一般的。
12. barelief / 浅浮雕 /  
    　- 選定理由: バスレリーフ(浅浮き彫り)は中国語で「浅浮雕」。(12)と組み合わせる形。  
    　- 学習コスト: 「浅」(8画)が追加されるが、(12)の「浮雕」とセットで理解しやすい。
13. fresk / 湿壁画 /  
    　- 選定理由: フレスコ画＝「湿壁画(しっぺきが)」が直訳として分かりやすい。単に「壁画」だと広義の壁絵。  
    　- 学習コスト: 3文字でやや多いが、「湿」「壁」「画」はいずれも比較的基本的な漢字。
14. rokok / 洛可可 /  
    　- 選定理由: 「ロココ式」は中国語で音訳「洛可可」がよく用いられる。  
    　- 学習コスト: 音写3文字だが、美術史用語としては広く認知。
15. ciklop / 独眼巨人 /  
    　- 選定理由: キュクロプス＝「独眼巨人」。中国語ではよくこの4文字熟語で表す。  
    　- 学習コスト: やや長いが、意味は明瞭。文字自体も常用の範囲内。
16. cirkumfleks / 抑扬符 /  
    　- 選定理由: サーカムフレクス(ˆ)は「抑扬符」などと表記されることがある(ほかに「变音符」等もある)。  
    　- 学習コスト: 3文字だが、発音記号・声調などでも「扬」を見かけることがあり応用可能。
17. franĝ / 流苏 /  
    　- 選定理由: 「房飾り」「フリンジ」の装飾部分は中国語で「流苏(房飾り、タッセル)」。  
    　- 学習コスト: 「流」(10画)＋「苏」(7画)。外観や服飾でもよく用いられるため再利用性あり。
18. tonsur / 剃发 /  
    　- 選定理由: 「剃髪・トンスラ」。宗教儀式として頭を剃る行為は中国語圏で「剃发」などと書く(仏教の「剃度」含む)。  
    　- 学習コスト: 2文字で比較的わかりやすい。「剃」は刃物偏、「发」は髪や発生など。
19. tril / 颤音 /  
    　- 選定理由: トリル(震え音)は中国語で「颤音」。  
    　- 学習コスト: 2文字。音楽用語「音」は今後も再利用されやすい。
20. vals / 华尔兹 /  
    　- 選定理由: ワルツの中国語表記としては「华尔兹」が一般的(音訳)。他に「圆舞曲」もあるが3文字かつ画数が多い。  
    　- 学習コスト: 「华」「尔」「兹」はいずれも音訳表記でよく出る。
21. flut / 长笛 /  
    　- 選定理由: フルート＝「长笛」が最も一般的。  
    　- 学習コスト: 2文字、どちらも初級～中級程度。管楽器の仲間として「笛」「管」などとの関連を学べる。
22. trumpet / 小号 /  
    　- 選定理由: トランペット＝中国語で「小号」。すでに(5)「号角」と部分重複し、関連性がわかりやすい。  
    　- 学習コスト: 2文字で画数も少なく、「号」は再利用。
23. tambur / 鼓 /  
    　- 選定理由: ドラム＝「鼓」で十分通じる(中国語の「打鼓」など)。  
    　- 学習コスト: 1文字で済むがやや画数が多め(13画)。ただし楽器としては頻出。
24. tamtam / 锣 /  
    　- 選定理由: タムタム(gong系の打楽器)としては「銅鑼(铜锣)」だが、1文字なら「锣」。  
    　- 学習コスト: 「锣」は金へん＋「罗」。(9)「弗罗林」の「罗」と近い要素を含むため多少の関連づけが可能。

**cimbal/钹/中国語でシンバルを表す標準的な1文字/比較的画数少なくシンプルだが専門性はやや高め**

**violonĉel/大提琴/チェロの標準的な呼称/「大」「提」「琴」はいずれも汎用度が高く学習コストも低め**

**ksilofon/木琴/シロホン(木琴)の標準的な呼称/「木」「琴」いずれも基本漢字で他の楽器にも応用可能**

**sopran/女高音/ソプラノの意味で一般的/「女」「高」「音」はいずれも頻出文字**

**tenor/男高音/テノールの意味で一般的/「男」「高」「音」で構成され馴染みやすい**

**trombon/长号/トロンボーンを指す標準呼称/「长」「号」は音や呼びかけなどで再利用度高い**

**tamburin/铃鼓/タンバリンの中国語名/「铃」「鼓」は打楽器関連で今後も転用可能**

**harmonik/口琴/ハーモニカの中国語名/「口」「琴」で構成されシンプルかつ汎用的**

**harmonium/簧风琴/リードオルガンの中国語名(簧=リード)/「簧」「风」「琴」で構成し“風琴”系にも応用可能**

**diapazon/音叉/音叉の中国語名/「音」「叉」は画数も少なく音関連で再利用しやすい**

**gam/音阶/音階の標準的な呼称/「音」「阶」で音楽や階層表現にも応用が効く**

**ton/乐音/音楽のトーン(楽音)を表す際に用いられる/「乐」「音」は音楽分野全般で再利用しやすい**

**melodi/旋律/メロディを意味する標準的表現/「旋」「律」は節奏・拍子関連にも繋げやすい**

**ritm/节奏/リズムに対応する最も一般的な中国語/「节」「奏」は音楽や動作表現で頻出**

**takt/节拍/拍子を表す標準的な呼称/「节」「拍」は“节奏”とも重なり学習コスト低減**

**orgen/管风琴/パイプオルガンの中国語名/「管」「风」「琴」で既出要素が多く再利用性も高い**

**gurd/手摇风琴/手回しオルガン(バレルオルガン等)の説明的名称/「手」「摇」「风」「琴」で既出部品が多く学習負担少**

**ŝalm/芦笛/あし笛(シャルム等)をイメージした簡潔表現/「芦」「笛」は竹や笛類でも再利用可能**

**ald/女中音/アルト声部を指す一般的名称/「女」「中」「音」で比較的基本的な漢字のみ**

**kontralt/女低音/コントラルトを指す一般的名称/「女」「低」「音」で構成され学習しやすい**

**orkestr/管弦乐队/オーケストラを指す標準的な呼称/「管」「弦」「乐」「队」は音楽関連で汎用度高め**

**oktav/八度/オクターブを指す最もシンプルな呼び方/「八」「度」は日常熟語にも多用される**

**salvi/鼠尾草/サルビア(セージ)属の代表的な呼称/「鼠」「尾」「草」は植物関連で使われる偏旁が多い**

**bazilisk/蛇怪/バジリスク(蛇系の怪物)を指す便宜的表現/「蛇」「怪」は神話・生物などでも応用可**

**bram/鲷/ブリーム(鯛の仲間)の一種として代表的/「鱼」偏を含む「鲷」は中日双方で“タイ”系魚を連想しやすい**

braman

* + 提案漢字: 婆罗门
  + 選定理由: 中国語で「バラモン教の僧侶・階級」を表す標準的表記。
  + 学習コスト: 3文字だがインド関連の固有名詞として中国語圏で一般的。単文字で適当な表記がないため、やむを得ず熟語を採用。

1. balzam
   * 提案漢字: 香脂
   * 選定理由: 「バルサム」を指す際に、「香り」と「脂(軟膏)」を合わせた語が中国語圏でもわかりやすい。
   * 学習コスト: 2文字。「香」「脂」ともに比較的使用頻度が高く、ほかの語にも転用しやすい。
2. bismut
   * 提案漢字: 铋
   * 選定理由: ビスマスを表す元素名として、中国語ではこの1文字が定訳。
   * 学習コスト: 1文字だが専門用の元素名で画数もやや多め(「金」＋「必」)。元素記号まわりで他にも類似パターンがあるため、化学分野の語根割当としては妥当。
3. vermiĉel
   * 提案漢字: 粉丝
   * 選定理由: 中国語で「春雨(ビーフン・米線含む細麺類)」を広く指す言葉。料理名でも頻出。
   * 学習コスト: 2文字。「粉」は粉末状のもの全般で使用頻度高め。「丝」(糸・細い)も汎用性が高い。
4. prunel
   * 提案漢字: 黑刺李
   * 選定理由: クロウメモドキ科のスモモ類「スロー(ブラックソーン)」。中国語で標準的にこう呼ばれる。
   * 学習コスト: 3文字だが、それぞれ「黒」「刺」「李」はいずれも基本的で学習コストは比較的抑えめ。
5. glan
   * 提案漢字: 橡子
   * 選定理由: ドングリ(オークの実)を示す中国語の一般的表記。
   * 学習コスト: 2文字。「橡」は「木」偏＋「象」でやや画数多めだが、ドングリを表すのに慣用的。
6. karpen
   * 提案漢字: 鹅耳枥
   * 選定理由: イヌシデ(カバノキ科)。標準和名に対応する中国語がこれ。
   * 学習コスト: 3文字。「鹅(ガチョウ)」「耳」「枥(木+力の形)」。やや珍しいが他に適当単字がない。
7. frangol
   * 提案漢字: 鼠李
   * 選定理由: クロウメモドキ科の「buckthorn」一般を「鼠李」と呼ぶことが多いため。
   * 学習コスト: 2文字。「鼠」「李」は学習範囲内。専門用語だが他の「李(スモモ科)」との共有もあり。
8. pini
   * 提案漢字: 松
   * 選定理由: マツ類全般(マツカサマツを含む)を指すなら、最もシンプルに「松」。
   * 学習コスト: 1文字で画数も比較的少なく、植物名として汎用度高い。
9. sorp
   * 提案漢字: 花楸
   * 選定理由: ナナカマド(rowan)を指す一般的な中国語表記。
   * 学習コスト: 2文字。「花」「楸(木＋秋)」でやや画数はあるが、植物名としては標準的。
10. acer
    * 提案漢字: 枫
    * 選定理由: カエデ(楓)を示す簡体字。日本語の「楓」の繁体要素を省いた形。
    * 学習コスト: 1文字で8画程度と比較的少なく、カエデを連想しやすい。
11. tili
    * 提案漢字: 椴树
    * 選定理由: ボダイジュ(セイヨウボダイジュ含むTilia属)の中国語標準名。
    * 学習コスト: 2文字。「椴」は木偏に「段」の形。やや画数が多いが単字での代替が難しい。
12. gajl
    * 提案漢字: 五倍子
    * 選定理由: 「ふし(五倍子)」「gall-nut」を指す一般的表記。染料などに利用。
    * 学習コスト: 3文字ながら「五」「倍」「子」は基礎的な字で学習コストは大きくない。
13. fab
    * 提案漢字: 蚕豆
    * 選定理由: ソラマメ(広い意味でのfava bean)を示す中国語表記。
    * 学習コスト: 2文字。「蚕」「豆」はともに初級～中級レベルの常用字。
14. fazeol
    * 提案漢字: 菜豆
    * 選定理由: インゲンマメ類(Phaseolus属)を広く指す場合に中国語で用いられる。
    * 学習コスト: 2文字。「菜」「豆」はいずれも非常に汎用性が高い。
15. datur
    * 提案漢字: 曼陀罗
    * 選定理由: チョウセンアサガオ(Datura)を指す代表的表記。
    * 学習コスト: 3文字だが、音訳由来でインド系植物としては比較的有名。
16. karob
    * 提案漢字: 角豆
    * 選定理由: イナゴマメ(Carob)を指すときに用いられる。樹木名としては「角豆树」もある。
    * 学習コスト: 2文字。「角」「豆」でどちらも初級レベル漢字。
17. cikori
    * 提案漢字: 菊苣
    * 選定理由: キクヂシャ(チコリ)の中国語標準。ベルギーチコリ等も含む。
    * 学習コスト: 2文字。「菊」「苣」はともに草花を表す偏旁を含み、植物名として妥当。
18. cedr
    * 提案漢字: 雪松
    * 選定理由: 一般に「cedar(杉/ヒマラヤスギ/レバノン杉等)」を指す場合、中国語では「雪松」がよく使われる。
    * 学習コスト: 2文字。「雪」「松」はいずれも単体で使用頻度が高い。
19. narcis
    * 提案漢字: 水仙
    * 選定理由: スイセン属(Narcissus)の総称として中国語で最も広く通用する。
    * 学習コスト: 2文字。「水」「仙」ともに基礎字で学習コスト低め。
20. sinap
    * 提案漢字: 芥菜
    * 選定理由: カラシナ、マスタード系の野菜を総称する場合に「芥菜」が比較的正確。
    * 学習コスト: 2文字。「芥」「菜」はどちらもよく使われる。単字「芥」だけだと曖昧さがあるため熟語化。
21. lonicer
    * 提案漢字: 金银花
    * 選定理由: スイカズラ(honeysuckle)の代表的名称で、中国語圏では漢方にも登場し有名。
    * 学習コスト: 3文字ながら「金」「银」「花」は初級～中級レベルで汎用性あり。
22. gliciriz
    * 提案漢字: 甘草
    * 選定理由: カンゾウ(甘草)の生薬名として広く定着。英語licoriceにも対応。
    * 学習コスト: 2文字。「甘」「草」ともにごく基本的な字。
23. heder
    * 提案漢字: 常春藤
    * 選定理由: キヅタ(ivy)を示す標準的名称。
    * 学習コスト: 3文字。「常」「春」「藤」は比較的初級～中級で、全て汎用性が高い。
24. urtik
    * 提案漢字: 荨麻
    * 選定理由: イラクサ類(nettle)の総称として中国語で一般的。
    * 学習コスト: 2文字。「荨(くさかんむり＋寻)」「麻」で植物的イメージを保ちつつ抑えめ。

muskat

* + 提案漢字(熟語): 肉豆蔻
  + 選定理由: 中国語でナツメグを指す一般的名称。日本語圏でも「肉豆蔻」は「肉豆(にくず)」「豆蔻(とうこう)」などの音から想像しやすい。
  + 学習コスト: 3文字だが「肉」「豆」は頻出度が高く、「蔻」はやや画数が多め。総じてスパイス名としては標準的表現なので、理解されやすいだろう。

1. juniper
   * 提案漢字(熟語): 杜松
   * 選定理由: 中国語での標準的な「ジュニパー(ネズ)」の名称。「桧柏」など別名もあるが、「杜松」の方が広く通る。
   * 学習コスト: 2文字で、ともに比較的画数が少ない(「杜」「松」)。どちらも木偏の漢字で、今後も他の植物名に転用しやすい。
2. mili
   * 提案漢字(熟語): 黍
   * 選定理由: 「キビ(黍)」を指す単漢字。中国語ではやや古風な字だが、確かに「黍」は黍(きび)や雑穀の一種を意味する。
   * 学習コスト: 単一文字だが画数はやや多め。ただし穀物系統で統一しやすいメリットがある。
3. papav
   * 提案漢字(熟語): 罂粟
   * 選定理由: 中国語でケシ全般を指す一般的名称。「罂粟」は医学・生薬の文脈でもよく登場する。
   * 学習コスト: 2文字ともに画数がやや多いが、ポピー=罂粟という対応は中日ともによく知られている。
4. fenkol
   * 提案漢字(熟語): 茴香
   * 選定理由: 中国語でフェンネル(ウイキョウ)を指す標準名。調味料や食材として「茴香」が広く知られる。
   * 学習コスト: 「茴」は少し画数多めだが「香」は頻出度が高い。スパイス系で「香」の再利用が期待できる。
5. ileks
   * 提案漢字(熟語): 冬青
   * 選定理由: 中国語でモチノキ属(ホリー)を指す名称のひとつ。冬でも青い常緑のイメージが伝わる。
   * 学習コスト: 2文字とも初級レベルの漢字。「冬」は常用、「青」も頻用なので学びやすい。
6. artiŝok
   * 提案漢字(熟語): 洋蓟
   * 選定理由: 中国語でアーティチョークを指す名称。「朝鲜蓟」という表記もあるが、「洋蓟」も広く通用する。
   * 学習コスト: 2文字。「洋」は頻用、「蓟」は画数多めだが、他のアザミ系を指す際にも登場し得る。
7. kren
   * 提案漢字(熟語): 辣根
   * 選定理由: 中国語でホースラディッシュ(西洋ワサビ)を指す一般的呼称。「辛い根」の直截なイメージが分かりやすい。
   * 学習コスト: 「辣」「根」ともにやや画数はあるが、それぞれ汎用性が高いので流用しやすい。
8. timian
   * 提案漢字(熟語): 百里香
   * 選定理由: 中国語でタイムを指す広く認知された名称。香草の一種として料理にもよく使われる。
   * 学習コスト: 3文字。「百」「里」「香」はいずれも基本的で「香」は他のハーブ系にも応用可。
9. cinam

* 提案漢字(熟語): 肉桂
* 選定理由: 中国語で一般的なシナモン(ニッケイ)の名称。「桂皮」とも呼ばれるが、2文字で表しやすい。
* 学習コスト: 「肉」「桂」は比較的基本。すでにナツメグ(muskat)で「肉」を使っており、再利用できる。

1. kamfor

* 提案漢字(熟語): 樟脑
* 選定理由: 中国語でカンフル(ショウノウ)を指す標準名。「樟」=クスノキ系、「脑」=脳を表す字だが、化学品名として定着。
* 学習コスト: 2文字だが「樟」はやや画数が多い。一方で「脑」は医薬系などで見かけることも多く、そこまで稀ではない。

1. kariofil

* 提案漢字(熟語): 丁香
* 選定理由: 中国語でチョウジ(クローブ)を指す代表的名称。香辛料として認知度が高い。
* 学習コスト: 2文字で画数も比較的少ない。「丁」「香」ともに基礎的。

1. cipres

* 提案漢字(熟語): 柏树
* 選定理由: 中国語で「イトスギ」を含む「柏科の木」を幅広く指す際によく用いられる。
* 学習コスト: 2文字。「柏」はやや古風だが木の名前で汎用。「树」は今後も「～樹」で再利用できる。

1. okzal

* 提案漢字(熟語): 酸模
* 選定理由: 中国語でソレル(スイバ)を指す際の一般的な名称。
* 学習コスト: 「酸」「模」はどちらも画数中程度だが、「酸」は食品系、調味料系で再利用可能性あり。

1. zingibr

* 提案漢字(熟語): 姜
* 選定理由: 中国語でショウガを示す単漢字。日本語での「生姜」に近い。
* 学習コスト: 単一文字かつ比較的基本。「しょうが」のイメージが付きやすい。

1. lol

* 提案漢字(熟語): 毒麦
* 選定理由: 中国語でもドクムギ(有毒のライグラス)を「毒麦」と呼ぶ。
* 学習コスト: 2文字。「毒」はよく使われる警戒語、「麦」は穀物系で既出または今後も転用可能。

1. rabarb

* 提案漢字(熟語): 大黄
* 選定理由: 中国語でダイオウ属(薬用ルバーブ)を指す名称。生薬名として有名。
* 学習コスト: 2文字。「大」は最頻出レベル、「黄」も色を表す常用字。

1. popl

* 提案漢字(熟語): 杨树
* 選定理由: 中国語でポプラ全般を広く「杨树」と呼ぶ(白楊/銀白楊など多数種を含む)。
* 学習コスト: 2文字。「树」はすでに13)で出たので再利用可。「杨」は比較的シンプル。

1. peoni

* 提案漢字(熟語): 芍药
* 選定理由: 中国語でシャクヤク(牡丹の仲間で草本)を指す標準的名称。
* 学習コスト: 2文字。「芍」「药」は薬草系でよく見られる。やや画数はあるが、植物名として定着。

1. kakt

* 提案漢字(熟語): 仙人掌
* 選定理由: 中国語でサボテンを総称する最も一般的な呼び名。
* 学習コスト: 3文字。「仙」「人」「掌」はいずれも意味が取りやすい(「仙人の掌」→サボテン)。

1. spinac

* 提案漢字(熟語): 菠菜
* 選定理由: 中国語でホウレンソウを指す通常の名称。料理名でも頻出。
* 学習コスト: 2文字。「菠」はやや画数多めだが「菜」は頻出語。

1. kratag

* 提案漢字(熟語): 山楂
* 選定理由: 中国語でサンザシを指す代表的名称。菓子や薬膳素材としても有名。
* 学習コスト: 2文字。「山」は最も基本的、「楂」は画数はあるが食品名などでよく見かける。

1. mahagon

* 提案漢字(熟語): 桃花心木
* 選定理由: 中国語でマホガニーを指す標準表記。家具材として名高い。
* 学習コスト: 4文字だが、「桃」「花」「心」「木」はいずれも基本要素。「木」は再利用性高い。

1. tremol

* 提案漢字(熟語): 山杨
* 選定理由: 中国語でアスペン(ヤマポプラ類)を指す際に使われる表現。「山」のポプラ→アスペンを示す。
* 学習コスト: 2文字。「山」は既出、「杨」もすでに(18)で用いており繰り返し使用可能。

1. onobrik

* 提案漢字(熟語): 红豆草
* 選定理由: 中国語でイガマメ属サンフォインを指す名称の一つ。文献で散見される。
* 学習コスト: 3文字だが、「红」「豆」「草」は全て基本的。「豆」はほかの植物名にも出やすい。

**visk / 桑寄生 / ヤドリギの漢名として「槲寄生」もあるが「桑寄生」が簡体字圏でも馴染みあり / 「桑」「寄」「生」は比較的常用で、再利用しやすい**

**liken / 地衣 / 地衣類の標準的表記 / 「地」「衣」ともに常用で画数も多くない**

**stip / 针茅 / Stipa属（ハネガヤなど）を指す中国語名「针茅属」から / 「针」「茅」は比較的画数が少なく、覚えやすい**

**filik / 蕨 / シダの総称として「蕨」が代表的 / 単字で意味がまとまるが、画数はやや多め**

**hiacint / 风信子 / ヒアシンスの標準表記 / 「风」「信」「子」はいずれも常用字**

**hortensi / 八仙花 / アジサイの別名。簡体字では「绣球花」もあるが、「八仙花」は画数が少なめ / 「八」「仙」「花」は再利用しやすい**

**endivi / 菊苣 / エンダイブ（キクヂシャ）の一般的呼称 / 「菊」は後述の「菊花」などでも再利用しやすい**

**gardeni / 栀子 / クチナシの漢名「栀子花」より。2文字化で少し簡略 / 「栀」はやや珍しいが標準表記、「子」は常用**

**kalendul / 金盏菊 / キンセンカ(ポットマリーゴールド)の代表的名称 / 「金」「菊」は他にも応用可能、「盏」は中程度の画数**

**krizantem / 菊 / キクの代表的単字 / 単独1文字でわかりやすく、他の「菊」関連にも使える**

**balzamin / 凤仙花 / ホウセンカの標準的表記 / 「凤」「仙」「花」はいずれも基本的で比較的画数少なめ**

**genist / 金雀花 / エニシダ（broom）の中国語名 / 「金」「花」は既出再利用可、「雀」は中程度の画数**

**pistil / 雌蕊 / めしべ(花の雌性部分)の学術用語 / 学校教育等でも使われる標準表記**

**bast / 韧皮 / じん皮(樹皮内部)に相当する語 / 「韧」「皮」は比較的よく見かける常用字**

**fuk / 海藻 / ヒバマタ(Fucus)は褐藻の一種だが適切な単字なし。便宜的に「海藻」として提案 / 「海」は常用、「藻」はやや画数多め**

**ricin / 蓖麻 / ヒマの標準的名称 / 「麻」は他でも再利用可、「蓖」はやや珍字だが正式名**

**lin / 亚麻 / 亜麻(フラックス)の簡体字表記 / 「亚」「麻」はどちらも比較的基本**

**kanab / 麻 / 大麻・麻類を総称する単字 / 一文字ですっきりしており、既出の「麻」とも整合**

**sorg / 高粱 / モロコシ(ソルガム)の標準名 / 「高」は常用字、「粱」はやや画数多めだが広く知られる**

**maiz / 玉米 / トウモロコシの一般的呼称 / 短い2文字、画数少なめで非常に常用**

**aven / 燕麦 / カラスムギ(オーツ)の標準表記 / 「燕」はやや画数多いが常用、「麦」は再利用しやすい**

**horde / 大麦 / オオムギの標準表記 / 「大」「麦」は既出で画数も少なく覚えやすい**

**piz / 豌豆 / エンドウ豆の代表的名称 / 「豌」はやや画数が多いが専門語、「豆」は常用**

**plantag / 车前草 / オオバコの標準表記 / 「车」「前」「草」はいずれも使用頻度高め**

**akvilegi / 耧斗菜 / オダマキ(Columbine)の標準的呼称 / 「耧」は珍字・画数多めだが正式名がこれ**

kamomil **/** 甘菊 **/ 中国語で「洋甘菊」と呼ばれるカモミールを2文字に簡略化。日本語でも「甘菊」はある程度通じる / 「菊(艹偏)」は他の植物名でも再利用しやすい**

* kameli / 山茶 / 「山茶(花)」はツバキ(カメリア)の代表的名称。日本語「山茶花(サザンカ)」とも関連し漢字圏に馴染みがある / 「山」「茶(艹偏)」とも汎用度が高い
* lap / 牛蒡 / ゴボウの標準的な中国語名。日本語でも「牛蒡」で通じる / すでに利用中の「艹(草)」偏を含む「蒡」はやや画数多めだが、和中双方で意味がつかみやすい
* kapor / 刺山柑 / ケイパー(Caper bush)の中国語名として一般的 / 「山」「柑(艹偏)」など再利用しやすい偏旁含むが、3文字熟語ゆえ若干画数は多め
* nap / 芜菁 / カブ(カブラ)を指す中国語名の一つ。ラパ(rap)ともほぼ同義 / 「艹(草)」偏が多いが、学術名としては妥当
* rap / 芜菁 / 上記napと同義扱いで同じ表記に統一 / 漢字学習コスト削減のため、napと同じ割当を再利用
* bulb / 洋葱 / タマネギを指す一般的な中国語表記 / 「洋」は外国由来の植物名にも再利用可能。「葱(艹偏)」も汎用度が高い
* ranunkol / 毛茛 / キンポウゲ(バターカップ)の代表的な中国名。「毛莨」とも書く / 「艹(草)」偏を含むが2文字で比較的短い
* absint / 苦艾 / ニガヨモギ(Absintheの原料)は中国語で「苦艾」 / 「艾」は他のヨモギ類にも使われる可能性があり再利用しやすい
* vink / 长春花 / ニチニチソウ(マダガスカル・ペリウィンクル)の中国名で一般的 / 「长」「春」「花(艹偏)」はいずれも高頻度漢字
* levkoj / 紫罗兰 / アラセイトウ(ストック)を含む“紫羅蘭”系統の花を示す代表的名称 / 「紫」「罗」「兰」いずれも比較的高頻度で再利用しやすい
* viburn / 荚蒾 / ガマズミ(Viburnum)の標準的な中国名 / 「荚(艹偏)」「蒾(艹偏)」でやや画数多めだが他に代替が少ない
* konvolvul / 旋花 / ヒルガオ(ビンドウィード)系統を指す簡体字での代表名 / 「旋」は回転・らせんを連想させ、花名としてもわかりやすい
* siring / 丁香 / ライラックは中国語で「丁香」(紫丁香と呼ぶ場合も) / 「丁」「香」はともに高頻度の簡単な漢字
* nimfe / 睡莲 / スイレン全般を示す中国語表記 / 「莲(艹偏)」は他の水生植物にも転用可能。「睡」の字も比較的認知度高い
* lili / 百合 / ユリを指す中国語・日本語ともに馴染み深い漢字表記 / 「百」「合」はどちらも基礎漢字
* konval / 铃兰 / スズランを表す中国語表記 / 「铃(金偏)」「兰(艹偏)」と偏旁がはっきりし学びやすい
* taksus / 紫杉 / イチイ(タイサス属)を指す中国語の一種。「红豆杉」などもあるが画数を抑えて2文字化 / 「杉(木偏)」は木を表す漢字として再利用しやすい
* sambuk / 接骨木 / ニワトコを指す一般的な中国語表記 / 「木」偏を含み、樹木名に共通性をもたせやすい
* fraksen / 白蜡 / トネリコ(アッシュ)の中国名「白蜡树」から樹の字を省き2文字化(実際には白蜡树が通称) / 「白」「蜡」はともに比較的認知度あり
* ment / 薄荷 / ハッカやミントを指す代表的中国語 / 「薄(艹偏)」「荷(艹偏)」で草偏が重なるが、Mint類の知名度は高い
* erik / 石南 / ヒース(エリカ)類を示す中国語の一例。「欧石南」と呼ぶ場合も / 「石」「南」はともに基礎的で覚えやすい
* galant / 雪花莲 / スノードロップ(ガランサス属)の中国語として一般的 / 「雪」「花(艹偏)」「莲(艹偏)」でやや画数が多いが連想しやすい
* junk / 灯心草 / イグサ属(Juncus)の代表的中国語名称 / 「灯」「心」「草(艹偏)」はいずれも初級～中級レベル漢字
* kan / 芦苇 / アシ(葦)を指す中国語で一般的。「苇」単独もあるが「芦苇」の方が理解されやすい / 「艹偏」が重複するが植物名として再利用可能

**1) kverk / 栎 / 中国語でオーク属(栎属)を指す字。画数が比較的少なく専門用語としても標準的 / 「木」偏を含み再利用が見込めるが、日本語ではやや馴染みが薄い点に留意**

**2) aln / 桤 / 中国語でハンノキ属を指す単字。アルダー＝「桤木」だが桤のみでも通じる / 「木」偏を流用できる。やや専門的な字だが総画数は10画と許容範囲**

**3) musk / 苔 / 「苔藓(コケ)」のうち苔を用い、画数が少ない / 日本語でも「苔(こけ)」と読むため直感的に分かりやすい**

**4) pedik / 虱 / シラミを表す最もシンプルな字 / 虫偏として再利用しやすい。8画と比較的少ない**

**5) larik / 落叶松 / カラマツ(落葉松)の中国語名 / 3文字だが植物名として標準的。木偏を含むため他との偏旁共有あり**

**6) kard / 蓟 / アザミ類(チシャノキ含む)を指す代表的な字 / 艹(草かんむり)なので他の草花系とも関連付け可能**

**7) malv / 葵 / 錦葵(マルヴァ属)全般のイメージに「葵」を採用 / 「草かんむり＋葵」で比較的覚えやすいが、広義に「アオイ科」を示す点に注意**

**8) cejan / 矢车菊 / ヤグルマギクの中国語名 / 3文字だが中国語で広く通用。矢・车・菊はいずれも常用で学習コストはまずまず**

**9) miozot / 勿忘草 / ワスレナグサを指す標準的な中国語名 / 4文字だが「勿」「忘」「草」は学習頻度が高く、組み合わせの理解もしやすい**

**10) melis / 香蜂草 / レモンバーム(メリッサ)の通称 / 3文字でやや多いが「香」「蜂」「草」はいずれも基本要素として再利用可**

**11) mimoz / 含羞草 / ミモザ(オジギソウ)として最も一般的な表現 / 3文字だが全て常用字で構成。草かんむり再利用**

**12) rezed / 木犀草 / モクセイソウ(レセダ属)を中国語で指す場合 / 3文字でやや画数多めだが、専門植物名としては標準。木偏を利用**

**13) lent / 小扁豆 / レンズマメを指す一般的名称 / 3文字だが「小」「扁」「豆」はどれも初級レベルの常用字**

**14) laktuk / 莴苣 / 中国語でレタス全般を指す代表的名称 / 2文字ながら総画数はやや多め。ただし専門用法として一般的**

**15) vinjet / 小插图 / 「装飾的な小カット(ヴィニェット)」を中国語で表す代表例 / 3文字だが「小」「插」「图」はいずれも基本的な常用字**

**16) garnitur / 配饰 / 一式の装身具・アクセサリー等を指す際に通用 / 2文字で比較的簡潔。「配」「饰」はいずれも日中で意味が推測しやすい**

**17) garn / 加固 / 「補強する」「強化する」を中心にした意味合いを重視 / 2文字で汎用性あり。前半「加」は学習しやすい**

**18) ornam / 饰 / 「装飾・飾る」の最もシンプルな単字 / 8画で「人＋八＋巾」の組合せ。再利用もしやすい**

**19) dekoraci / 装饰 / 「装飾する」全般を示す標準的表現 / 2文字でやや多いが「装」「饰」は既出偏旁の組合せで覚えやすい**

**20) diskont / 贴现 / 手形割引など商業的なディスカウント / 2文字で「贴」「现」はいずれも商用で重要語彙**

**21) rabat / 折扣 / 一般的な値引き・割引を指す標準表現 / 2文字で経済活動でも頻出。折(手へん＋斤)と扣(扌＋口)は再利用可能**

**22) likvid / 清算 / 「清算する」「負債を整理する」の標準語 / 2文字でやや画数多めだが法律・経済分野で必須**

**23) amortiz / 折旧 / 原価消却(特に減価償却)で広く使われる / 2文字で経理用語として重要。「折」は再出**

**24) evit / 避 / 「避ける」「回避する」の単字 / 16画とやや多いが1文字で意味が完結し、日本語の「避」と同形**

**25) de/ten## / 挽留 / 「引き留める」「離さないようにする」意味に合致 / 2文字でやや多いが、会話・人間関係などで汎用的に使える**

border

* + 提案: 边
  + 理由: 「縁・境界」のニュアンスに合致し、簡体字で画数が少ない(5画)。「辺境」「周辺」など日本語でも意味を推測しやすい。
  + 学習コスト: 単独1文字で済む。今後も「辺」は「まわり」「境界」を表す際に再利用が期待できる。

1. ekskomunik (破門・宗教上の追放)
   * 提案: 逐出
   * 理由: 「逐」は「追い払う」「駆逐する」を表し、「出」は既出・再利用が見込める常用字。「逐出」で「教会から追放する」ニュアンスをおおむねカバーできる。
   * 学習コスト: 「逐」(10画)と「出」(5画)の2文字熟語だが、「出」は別単語でも再利用予定。「逐」は後の「放逐」(exile)とも連動する。
2. ced (譲歩する)
   * 提案: 让步
   * 理由: 中国語で「譲歩する」は「让步」が定番表現。
   * 学習コスト: 「让」(5画)と「步」(7画)の組み合わせ。後で「进步」(進歩)などにも登場し「步」を再利用できる。
3. las (手放す・許す・任せる)
   * 提案: 放
   * 理由: 「放」は「放す」「放置」「解き放つ」など、「手放す・許す」ニュアンス全般をカバーするのに便利。
   * 学習コスト: 8画で比較的覚えやすい。後に「放逐」「解放」などにも再利用。
4. rezign (権利などを放棄する)
   * 提案: 弃
   * 理由: 「弃」は「捨てる」「放棄する」の意味を持ち、画数(7画)もそこまで多くない。
   * 学習コスト: 単独1文字。「放棄」の「棄」と同系統で、日本語話者にも馴染みがある。
5. abdik (退位する・辞任する)
   * 提案: 让位
   * 理由: 「让位」は「位を譲る・退位する」という意味の常用表現。
   * 学習コスト: 「让」(5画)は既出(譲歩)と同じで再利用。「位」(7画)も基本的かつ比較的よく使う。
6. ekzil (国外追放する・流刑にする)
   * 提案: 放逐
   * 理由: 「放」は「解き放つ」「追い出す」文脈でも使え、「逐」は「駆逐・追放」を表す。「放逐」で「国外へ放逐する」ニュアンス。
   * 学習コスト: 「放」はすでに#4で使用、「逐」は#2(逐出)で使用済み。再利用により学習コストを抑えられる。
7. emancip (解放する)
   * 提案: 解放
   * 理由: 「解放」は「束縛から解放する」「自由にする」を表す、中国語でも日本語でも馴染み深い熟語。
   * 学習コスト: 「解」(13画)はやや多画だが「放」(8画)を再利用。重要な熟語なので採用価値が高い。
8. dis ([接頭辞] 分散・分離)
   * 提案: 分
   * 理由: 「分」は「分ける・分散する」ニュアンスを端的に表すシンプルな漢字。
   * 学習コスト: 4画で非常に基本的な文字。今後「分割」「分配」など多くに再利用予定。
9. divid (分割する)

* 提案: 分割
* 理由: 「分割」は「区切る」「細かく割る」ことを明確に示す。
* 学習コスト: 「分」は既出、「割」(12画)はやや多いが日本語でも「割る」「分割」で馴染みがあり、覚えやすい。

1. distribu (分配する)

* 提案: 分配
* 理由: 中国語の「分配」は「配分・割り当て」を表す常用熟語で、意味が的確。
* 学習コスト: 「分」は既出、「配」(10画)も比較的よく使われる基本字。

1. ekstrakt (抜粋する・抽出する)

* 提案: 抽出
* 理由: 「抽」は「引き出す」「取り出す」、「出」は既出(逐出など)。「抽出」は“エキスを抜き出す”や“必要部分を取り出す”の感覚。
* 学習コスト: 「出」は既出、「抽」(8画)は新規だが頻出語(抽象・抽選など)で学習しやすい。

1. deriv (派生させる)

* 提案: 派生
* 理由: 中国語で「派生」は“そこから派生・派生語”といった意味合いにぴったり。
* 学習コスト: 「派」(9画)は新規だが、「生」は#17(生长)と共通で今後も利用しやすい。

1. dedukt (演繹する・推論する)

* 提案: 演绎
* 理由: 中国語で「演绎」は論理学用語の「演繹」に相当し、“deduction”を端的に示す。
* 学習コスト: 「演」(9～14画ほど)はやや多画だが、「绎」(8画)も含め論理関連で頻出するため選定。後の「演化」(進化)などと連動可能。

1. esting (消す・消火する)

* 提案: 灭
* 理由: 「灭」は「滅する」「消滅させる」「消す」という意味をシンプルに1文字で表現。
* 学習コスト: 5画で短い。日本語の「滅」と近く、類推しやすい。

1. solv (解決する)

* 提案: 解决
* 理由: 中国語の「解决」は「問題を解く・解決する」の標準的な言い方。「解」は#8で既出。
* 学習コスト: 「解」(13画)＋「决」(6画)で19画だが、いずれも頻出字。

1. kresk (成長する)

* 提案: 生长
* 理由: 中国語で「生长」は“生物が育つ、成長する”を直接表す定番表現。
* 学習コスト: 「生」(5画)と「长」(4画)で合計9画。非常にシンプル。

1. veget (植生する・植物状態になる等)

* 提案: 植
* 理由: 「植」は「植物」「植える」「植生」に通じる漢字。1文字で“植える・植物”ニュアンスをカバー。
* 学習コスト: 12画やや多めだが、日本語でも「植林」「植物」で馴染みがある。

1. ekspluat (開発する・(資源を)利用する・搾取する)

* 提案: 开发
* 理由: 中国語の「开发」は「開発する」「切り拓く」意味。やや否定的な「搾取」より広く使われる。
* 学習コスト: 「开」(4画)と「发」(5画)で計9画と比較的少ない。

1. progres (進歩する)

* 提案: 进步
* 理由: 中国語の「进步」は“進む・進歩”の意味をストレートに表す常用語。
* 学習コスト: 「进」(7画)と「步」(7画)で14画。「步」は#3(让步)との重複あり。

1. evolu (進化する(動詞))

* 提案: 进化
* 理由: 中国語で「进化」は“生物や物事が進化する”一般的動詞表現。
* 学習コスト: 「进」は既出(#20)で7画、「化」(4画)は基本字。計11画とコンパクト。

1. evoluci (進化・進化論(名詞))

* 提案: 演化
* 理由: 中国語で「演化」は“変化し発展する”という名詞/動詞両用語。「演绎」(#14)と同じ「演」を再利用し、名詞としての進化を表す。
* 学習コスト: 「演」は#14で既出、「化」は#21で既出。再利用により負担を抑えられる。

1. fal (落ちる)

* 提案: 落
* 理由: 「落」は“落ちる・落下する”意味を代表する常用字。日本語でも「落下」「落ちる」で直感的。
* 学習コスト: 12画とやや多めだが、「落」は頻出なので学習価値が高い。

1. redukt (縮小する・減らす)

* 提案: 减少
* 理由: 中国語で「减少」は“減少させる・少なくする”という動詞。
* 学習コスト: 「减」(7画)＋「少」(4画)＝計11画。「少」は非常に基本的な字。

1. degrad (降格する・地位を下げる)

* 提案: 降级
* 理由: 中国語で「降级」は“地位やランクを引き下げる”を直接示す日常的表現。
* 学習コスト: 「降」(8画)と「级」(6画)で14画。どちらも比較的基本的な字。

kaduk

* 提案: 衰老
* 理由: 「老朽」「老衰」に近い意味を持つ、年を取って衰えるニュアンスを表す標準的な簡体字表現。
* 学習コスト: 「衰」は後のdekadenc(衰退)などでも再利用でき、「老」も広く使われる常用漢字のため、日本語・中国語圏双方で比較的学習しやすい。
* degener
* 提案: 退化
* 理由: 退化(＝degenerate)は中国語でも日常的に使われる表現で、意味が非常に分かりやすい。
* 学習コスト: 「退」は後のdekadenc(衰退)とも共通化でき、「化」は多くの派生語(変化、進化など)があり汎用性が高い。
* velk
* 提案: 枯
* 理由: 「枯れる」「枯萎」の意味を単字で表す際に使われる漢字。日本語の「枯れる」とも対応が良く、直観的に理解しやすい。
* 学習コスト: 単独の一字だが、比較的画数も少なめ(「木＋古」)で、日本語でも常用字。
* dekadenc
* 提案: 衰退
* 理由: 「デカダンス(退廃)」「衰退」「頽廃」などの意味に対応。中国語でも「衰退」は広く使われる。
* 学習コスト: 既に(1)で出てきた「衰」と(2)で出てきた「退」を組み合わせており、学習コストを抑えられる。
* putr
* 提案: 腐
* 理由: 「腐る」「腐敗」「腐烂」の核心をなす漢字で、腐敗・腐朽という意味を端的に表せる。
* 学習コスト: 多少画数は多い(14画)が、日本語の「腐る」に対応し、中国語でも「腐败」「腐烂」などでお馴染みの字。
* pere
* 提案: 亡
* 理由: 「滅びる」「死ぬ」「消える」など、滅亡や破滅を連想しやすいシンプルな字。「死」や「灭」も候補だが、より画数が少なく“終焉”のイメージが強い。
* 学習コスト: 画数が非常に少なく(3画)、日本語・中国語ともに複合語でよく見かける(「死亡」「灭亡」など)。
* bankrot
* 提案: 破产
* 理由: 中国語で「破産」を表す一般的な熟語。意味が直感的で、日常的に用いられる。
* 学習コスト: 「破」はほかにも「破滅」「破壊」などで頻出しやすく、「产」も「产品」「财产」など日常語彙で使われる。
* akcel
* 提案: 加速
* 理由: 「加速する」の標準的な簡体字表現。
* 学習コスト: 「加」は「添加」「加入」など頻用、「速」も「速度」「快速」などで広く使われるため汎用性が高い。
* impet
* 提案: 冲刺
* 理由: 「突進する」「猛ダッシュする」のニュアンスに近い中国語表現。
* 学習コスト: 「冲」は後で「冲动」(impuls)にも再利用予定、「刺」は単独で「刺す」意味もあり比較的学習しやすい。
* impuls
* 提案: 冲动
* 理由: 「衝動」の意味に合致する日常的な中国語。
* 学習コスト: 「冲」は(9)から再利用、「动」も頻出字(「活动」「动作」「运动」など)で汎用性が高い。
* puŝ
* 提案: 推
* 理由: 「押す」に近い意味で中国語の「推」。非常にポピュラーな動詞。
* 学習コスト: 画数はやや多いが(11画)、後のŝovとも同じ字で済ませられ、学習コストを下げられる。
* ŝov
* 提案: 推
* 理由: 「押しやる」「押し動かす」のイメージで、puŝと同様「推」にまとめられる。意味が近接している。
* 学習コスト: puŝと同じ字を使い回すことで、新規習得は不要。区別は後で上付き文字等で対応予定。
* prem
* 提案: 压
* 理由: 「押さえつける」「圧迫する」「押し下げる」を表す簡体字。日本語の「圧」に相当。
* 学習コスト: 画数が少なく(6画)、「威压」(impon)など他でも使い回しやすい。
* trud
* 提案: 迫
* 理由: 「押し付ける」「強要する」のニュアンスに最適。「迫使(迫らせる)」などにも通じる。
* 学習コスト: 7～8画程度で比較的シンプル。後のpersekut(迫害)にも流用予定。
* streĉ
* 提案: 紧
* 理由: 「緊張させる」「ピンと張る」を表す簡体字。日本語の「緊」に対応。
* 学習コスト: 画数は9画程度だが、「紧张」「紧急」など中国語日常表現で頻出し、学びやすい。
* urĝ
* 提案: 急
* 理由: 「差し迫る」「急を要する」を最も端的に示す字。日本語の「急」と同じ。
* 学習コスト: 9画で比較的覚えやすく、各種熟語(「急速」「急用」「紧急」など)にも登場。
* insist
* 提案: 坚持
* 理由: 中国語で「主張を押し通す」「意見を堅持する」の意味合いにもっとも近い常用表現。
* 学習コスト: 「坚」は「坚固」「坚决」など頻出、「持」も「保持」「维持」などで馴染みがある。
* persekut
* 提案: 迫害
* 理由: 「迫害」「迫る＋害を与える」の意味そのままの中国語。
* 学習コスト: 「迫」はtrudで既出、「害」は10画だが「危害」「害虫」などで見かけるため比較的覚えやすい。
* impon
* 提案: 威压
* 理由: 「威圧する」「強い印象を与える」ニュアンスに合う熟語。「威吓」「威胁」などとも近い。
* 学習コスト: 「威」は9画、「压」はpremで既出。再利用で学習負担を軽減。
* ribel
* 提案: 叛
* 理由: 「反乱する」「叛く」を端的に表す一字。「叛乱」「反叛」などの形でも使われる。
* 学習コスト: 単字で明確に「裏切る」「反乱を起こす」含意があるが、日本語でも「叛逆」などの熟語があるため理解はしやすい。
* revoluci
* 提案: 革命
* 理由: 「革命を起こす」を表す最も直接的な中国語表現。
* 学習コスト: 「革」も「命」も常用字で、日本語にも馴染み深い(「革命」「命令」「生命」など)。
* parad
* 提案: 游行
* 理由: 「パレード」「行進」を意味する一般的な中国語。軍事パレードなら「阅兵」もあるが、より広義な「遊行」を選択。
* 学習コスト: 「游」(遊ぶ)と「行」(行く)はいずれも基礎的な字で、日本語でもイメージをつかみやすい。
* kapitulac
* 提案: 投降
* 理由: 「降伏する」「屈服する」を表す際の標準的な中国語表現。
* 学習コスト: 「投」は「投げる」「投資」などに使われ、「降」も「下降」「降临」など頻出のため汎用性がある。
* pendol
* 提案: 摆
* 理由: 本来は「钟摆(振り子)」など2文字が一般的だが、「摆」単独で「振り子(＝揺れるもの)」のイメージを当てはめる。
* 学習コスト: 8画でそれほど多くなく、後述のoscil(摆动)でも使い回せるため学習効率が高い。
* oscil
* 提案: 摆动
* 理由: 「振動する」「揺れ動く」を表す中国語で、直感的に分かりやすい。
* 学習コスト: 「摆」はpendolで既出、「动」はimpuls(冲动)などでも既出。新規習得は不要。

flirt / 飘 /

* + 理由: 「(旗などが)翻る」「ひらひらと舞う」ニュアンスに対応しやすい。「飘」は「飘扬(ひらひらと翻る)」「飘动(風に揺れる)」等で使われる。
  + 学習コスト: 部首は「风(かぜ)」で画数9。日本語話者にも「飘＝(風に)漂う」というイメージが伝わりやすいと思われる。

1. flagr / 闪 /
   * 理由: 「炎がちらつく・揺らめく」を「闪(ひらめく、きらめく、瞬間的に光る)」で表現。中国語でも「闪烁(shǎnshuò)＝ちらちら光る」の用例あり。
   * 学習コスト: 5画と比較的少なく、再利用しやすい。
2. vibr / 振 /
   * 理由: 「振動する」を表す代表的な漢字として「振(ふるう、ふる)」。中国語で「振动」＝“振動”の意味。
   * 学習コスト: 「扌(手)」偏+「辰」の組み合わせで10画。手偏は他の動詞系漢字と共通で、応用範囲も広い。
3. trem / 抖 /
   * 理由: 「震える」「身震いする」ニュアンス。「抖」は「抖动(dǒudòng)＝震える・揺れる」などに使う。
   * 学習コスト: 7画と少なめ。手偏(扌)なので他動詞系との共通点もあり学習効率が良い。
4. sku / 摇 /
   * 理由: 「(を)揺すぶる」「激しく振る」イメージは「摇」が適切。中国語で「摇晃(yáo huàng)＝揺れる」「摇动＝揺り動かす」など。
   * 学習コスト: 9画。手偏で再利用可能。日常頻度も高い。
5. balanc / 摇 /
   * 理由: 「(を)上下に揺る」「上下に揺さぶる」を同じく「摇」でカバー。たとえば「上下摇动」で上下方向の揺れを表現できる。
   * 学習コスト: 既出の「摇」を再利用することで新たな漢字増加を回避。
6. lul / 摇 /
   * 理由: 「(揺って)寝かしつける」→「摇孩子入睡」は中国語としても自然。「哄」とも近いが、「物理的に揺する」意味なら「摇」。
   * 学習コスト: 既出の「摇」を使うことで学習負担をさらに低減。
7. pep / 鸣 /
   * 理由: 「さえずる」「ピーピーと鳴く」など小鳥の鳴き声は「鸣(míng)」で広くカバー可能(“鳴く”全般を指す用法)。
   * 学習コスト: 8画。頻出の「鸟(鳥)」偏ではない簡体形だが、「鸣」は比較的よく見かける単語(“鸣谢”“鸣叫”など)で応用範囲も広い。
8. tord / 扭 /
   * 理由: 「(を)よじる」「ひねる」の一字表現としては「扭」が一般的。「扭伤(ひねって痛める)」「扭曲(ねじ曲げる)」など。
   * 学習コスト: 7画。手偏で動詞系。再利用も期待できる。
9. kirl / 搅 /

* 理由: 「(を)かきまわす」「かき混ぜる」＝「搅」。普通の料理や液体をかき混ぜる場面で頻用。
* 学習コスト: 9～10画程度(部首は手偏＋交)。動詞系で手偏を使っており他との関連もある。

1. sving / 挥 /

* 理由: 「(を)振る」「(を)振りかざす」「(を)振り回す」は「挥」が適切。「挥舞(huīwǔ)＝振りかざす」など。
* 学習コスト: 9画で比較的短め。手偏(扌)なので既出漢字と統一感がある。

1. ŝancel / 摇 /

* 理由: 「ぐらつかせる」「動揺させる」も「摇」で十分表現可(「动摇(dòngyáo)＝揺らぐ」など)。
* 学習コスト: 既出を再利用。「摇」のまま上付き文字などで区別する予定。

1. strab / 眯 /

* 理由: 「やぶにらみする」「目を細める」「目をすがめる」なら「眯」(眯眼=mīyǎn)が分かりやすい。
* 学習コスト: 眶(目偏)系の中では比較的よく使う動詞。11画程度だが意味は直感的。

1. grinc / 吱 /

* 理由: 「きしる」「チーと耳障りな音を出す」→ 中国語の擬音語「吱吱」(きしむ・鼠の鳴き声など)で有名。
* 学習コスト: 7画。口偏(口+支)で音を表す語として再利用しやすい。

1. knar / 吱 /

* 理由: 同じく「きしる」。「grinc」とほぼ同じ意味合いなので「吱」で再利用。
* 学習コスト: 既出の「吱」を流用。

1. kaŭr / 蹲 /

* 理由: 「うずくまる」「しゃがむ」は中国語で「蹲(dūn)」が最も直接的。
* 学習コスト: 19画とやや多いが、単字で意味が明確。熟語で回避すると逆に総画数が増える場合も多いため、そのまま採用。

1. ŝim / 霉 /

* 理由: 「かびる」「カビ(黴)」は簡体字で「霉」。これが最も一般的かつ正確。
* 学習コスト: 部首が「雨」＋「毎」の形でやや多画数(合計15前後)だが、他に適当な1字がないため固定。

1. ĉif / 皱 /

* 理由: 「しわくちゃにする」「しわを寄せる」は「皱(皺の簡体)」。
* 学習コスト: 10画ほど。しわ関連で使われる常用字。

1. ŝrump / 缩 /

* 理由: 「しなびる」「縮む」「萎む」→ 中国語では「缩小(縮小)」「收缩(収縮)」など「縮む」意味の「缩」が便利。
* 学習コスト: 11画(糸偏＋宿)。一般的な「縮む」を示す字なので、派生用法も豊富。

1. kalfatr / 填缝 /

* 理由: 「(コーキングで)すき間を埋める」「目地を埋める」の標準表現の一つ。「填缝(tiánfèng)」＝「隙間を詰める・充填して塞ぐ」。
* 学習コスト: 2文字だが「填(埋める)」「缝(縫い目/すき間)」はいずれも比較的汎用。1字で「堵/补/糊」等だと厳密に“コーキング”を表しづらいため熟語を採用。

1. kluk / 咯 /

* 理由: 「クックッと鳴く(鶏の鳴き声)」に近い漢字擬声として「咯」。よく「咯咯叫(gēgējiào)」で「ニワトリの鳴き声」等に使われる。
* 学習コスト: 口偏で8画。擬音語にしばしば登場する。

1. frot / 搓 /

* 理由: 「(を)摩擦する」「こする」は「搓(cuō)」。料理などで「手のひらでこすり合わせる」感が分かりやすい。
* 学習コスト: 12画程度。「搅」「摇」などと同じく手偏で動詞という共通点がある。

1. kolizi / 碰 /

* 理由: 「衝突する」「ぶつかる」は「碰(pèng)」がシンプルで頻出。「碰撞(pèngzhuàng)」で“衝突”全般を示す。
* 学習コスト: 13画。「石」偏＋「并」の組み合わせ。日常で「碰见」「碰到」(出会う/ぶつかる)等にも使い回し可能。

1. ŝir / 扯 /

* 理由: 「(を)ちぎる」「(布などを)引き裂く」の意味では「撕(sī)」もあるが、画数が多いので「扯(chě)」(8画)を採用。中国語でも「扯破」＝“引き裂く”。
* 学習コスト: 8画。手偏で既出漢字群に近い。

1. skrap / 刮 /

* 理由: 「(を)削る」「(を)こすり落とす」「(風が)吹く」などを幅広く表現できる「刮(guā)」を採用。日常でも「刮胡子(髭を剃る)」「刮泥(泥を削る)」などで用いる。
* 学習コスト: 7画。刀の意味を持つ「刂/刀」を含む比較的シンプルな字。

lek **/** 舔 **/  
「舔(tiǎn)」は「舐める」を最も直接的に表す常用字。日本語話者も“舌＋扌”系統(旧字体「舐」など)を連想しやすく、中国語話者にとっても意味が明瞭。 /  
1文字で意味がはっきりし、画数(11画)も比較的許容範囲。他の字との重複利用は現状少ないが、日中ともに理解しやすい。**

* pinĉ / 捏 /  
  「捏(niē)」は「つまむ、捻(ひね)る」などを表す高頻度字。 /  
  画数(10画)はそこそこだが、ほかの近義語「掐」は若干ニュアンスが異なり、総合的に「捏」のほうが幅広く使われる。既出の部首「扌」(手へん)の再利用にもなる。
* maĉ / 咀嚼 /  
  「咀嚼(jǔjué)」は「かみ砕く」動作を最も的確に表現する熟語。1文字「嚼」もあるが、日本語話者には「咀嚼」という熟語が馴染み深い。 /  
  2文字ではあるものの「口(くち)＋尺」を含むため、偏旁が比較的わかりやすい。「嚼」単独よりも意味が明確で、日本語にも同形の熟語があるため学習コストを抑えやすい。
* mord / 咬 /  
  「咬(yǎo)」は「かむ、かみつく」の基本動詞。 /  
  画数(9画)はやや多めだが、非常に高頻度で日中ともに「口へん＋交」の組み合わせがわかりやすい。
* grat / 抓 /  
  「抓(zhuā)」は「引っかく、ひっかき傷をつける」動作も含め、手で“ひっかく・つかむ”全般に使える。 /  
  画数(7画)で比較的少なく、「扌」と「爪」からなりイメージしやすい。日本語にも「爪(つめ)」があるので連想はしやすい。
* karambol / 撞 /  
  「撞(zhuàng)」は「(玉突きなどで)衝突させる、ぶつける」。ビリヤードの撞球(どうきゅう)とも関係深い。 /  
  やや画数(15画)が多いが、「衝突系」を表す常用字。「車へん」を用いた「撞」は、日本語話者も「撞着(どうちゃく)」で見かける場合があり、連想は可能。専門用語ゆえ未対応でもよいが、一応の提案。
* pik / 刺 /  
  「刺(cì)」は「刺す、突き刺す」意の代表字。 /  
  画数(8画)と比較的少なく、日本語の「刺(さ)す」とも共通し、直感的に意味を把握しやすい。
* bat / 打 /  
  「打(dǎ)」は「打つ、たたく、殴る、(心臓が)打つ」など、広範囲に使える最も基本的な動詞。 /  
  画数(5画)と少なく、非常に高頻度。学習コストが低い。
* frap / 拍 /  
  「拍(pāi)」は「手のひらで叩く、軽く打つ、ノックする」などを表す。 /  
  「打(dǎ)」との混同を避けるために差別化。画数(8画)は許容範囲で、「扌＋白」の組み合わせもわかりやすい。
* grimac / 鬼脸 /  
  「鬼脸(guǐ liǎn)」は「鬼の顔」の直訳で、いわゆる「変顔・しかめっ面をする、鬼のような顔を作る」というイメージに近い。 /  
  単独の1文字で「grimace」を正確に表すのは難しいため、2文字熟語を選択。「鬼」「脸」は日本語でも「鬼」「顔(臉)」と近く、ある程度連想しやすい。
* ŝerc / 玩笑 /  
  「玩笑(wánxiào)」は「冗談、からかい」を指す際にもっとも一般的な名詞・動詞表現(「开玩笑」で“冗談を言う”)。 /  
  1文字で「冗談」に相当する字はないため2文字を採用。いずれも頻出字で学習コストも比較的低め。
* rid / 笑 /  
  「笑(xiào)」は「笑う」。日中共通で非常に頻度が高く、意味を誤解されにくい。 /  
  画数(10画)だが常用中の常用。日本語の「笑(わら)う」と対応し、覚えやすい。
* rikan / 冷笑 /  
  「冷笑(lěngxiào)」は「冷たく笑う、あざ笑う(冷笑する)」に相当する表現。 /  
  1文字だと「嗤(chī)」などもあるが頻度が低いため、「冷笑」は日中共に意味が直感的でわかりやすい。2文字だがそれぞれ高頻度漢字。
* miaŭ / 喵 /  
  「喵(miāo)」は猫の鳴き声を表す中国語の擬声字。 /  
  画数(11画)とそこそこだが、口偏＋苗で構成され意味も直感的。日本語の「ニャー」に近い音として認識しやすい。
* boj / 吠 /  
  「吠(fèi)」は「(犬が)ほえる」の意。「汪」(wāng)も犬の鳴き声だが擬声要素が強いので、「吠」のほうが「ほえる」の動詞感がある。 /  
  画数(7画)で比較的シンプル。「口＋犬」で構成され、日本語の「吠(ほ)える」と同じ形。
* kri / 叫 /  
  「叫(jiào)」は「大声で呼ぶ、叫ぶ」のもっともシンプルな字。 /  
  画数(5画)と少なく、動物の鳴き声にも使われる汎用動詞。「口＋丩」の組み合わせで比較的覚えやすい。
* blek / 叫 /  
  動物の鳴き声全般に対しても「叫(jiào)」が使えるため、同じ字を流用。 /  
  条件1(漢字の種類削減)を優先し再利用。「blek」は動物の泣き声(いななき等)だが、汎用的に「叫」で対応可能。
* fajf / 吹哨 /  
  「吹哨(chuīshào)」は「口笛を吹く、ホイッスルを吹く」などを含め「笛を鳴らす」の一般的表現。 /  
  1文字では「啸(xiào)」があるが使用頻度が低めなので2文字熟語に。どちらも高頻度漢字で「口＋欠」「口＋肖」によりイメージしやすい。
* murmur / 咕哝 /  
  「咕哝(gū‧nong)」は「ぶつぶつ低い声でつぶやく、つぶやき」の口語的表現。 /  
  「低声」「嘀咕」など類義もあるが、本義の「小声でぼそぼそ言う」に近い。2文字だがどちらも口へん＋比較的覚えやすい構造。
* grumbl / 抱怨 /  
  「抱怨(bàoyuàn)」は「(不満を)ぶつぶつ言う、文句を言う、愚痴をこぼす」など。「嘟囔」「嘀咕」より“文句・不平”のニュアンスが強い。 /  
  2文字だが非常に使用頻度が高く、日本語の「抱」「怨」とも類似。学習価値が高い。
* sput / 吐 /  
  「吐(tǔ)」は「吐き出す、唾を吐く」など幅広く「口から何かを出す」意味を持つ基本字。 /  
  画数(6画)で覚えやすく汎用性が高い。後述の「kraĉ」と区別しない形で簡略化し、漢字の種類を減らす狙い。
* vom / 呕吐 /  
  「呕吐(ǒutù)」は「嘔吐する」の標準表現。1文字の「吐」でも表現可能だが、区別を明確にしたい場合に2文字熟語を採用。 /  
  「吐」と同じ字を再利用しつつ「呕(7画)」を追加で学習する形だが、嘔吐のニュアンスがはっきり伝わる。
* kraĉ / 吐 /  
  「kraĉ」と「sput」はともに「唾を吐く」系統で重なるため、簡略化を優先して同じ「吐」を割り当て。 /  
  厳密に区別するなら「吐唾」「吐口水」なども考えられるが、学習負担削減を重視して「吐」に統一。
* osced / 哈欠 /  
  「哈欠(hāqian)」は「あくびをする」の標準表現。 /  
  単一字では表せないため熟語に。両文字とも口偏を含み、比較的イメージしやすい。
* tus / 咳 /  
  「咳(ké)」は「咳をする」の意。フル表現「咳嗽(késou)」の略で、こちらのほうが1文字で簡潔。 /  
  画数(7画)で比較的シンプル。日中でほぼ同形・同義。

tern / 打喷嚏 / くしゃみを表す最も一般的な表現 / 「打」は他動詞的な働きで多用される字なので転用性が高いが、「嚏」は画数が多く専門的

1. singult / 打嗝 / しゃっくりを表す日常的な言い方 / 「打」を再利用できるので学習コスト抑制に寄与
2. ĝem / 呻吟 / うめく・うめき声を表す標準的な2文字熟語 / 新規漢字だが中国語で広く使われる表現
3. ronk / 打鼾 / いびきをかく場合の定番表現 / 「打」を再利用、「鼾」はやや画数多めだが標準的
4. kartav / 未対応 / [文]「R音をのどで発音する」のような特殊用法につき割当困難 / 必要なら「喉音」など検討可だが一般的ではないため未対応とした
5. laŭt / 大声 / 「大きい声＝大声」で分かりやすく画数も少ない / 「大」「声」は他語根でも転用可能
6. sonor / 响 / 鳴り響く・響きわたるイメージを1文字で表現 / 新規だが「响」は比較的頻出で応用可能
7. son / 声 / 「音」「声」の汎用的意味をもつ字として再利用 / すでに「大声」などとも組み合わせられる
8. voĉ / 声 / 「声（ボイス）」の意味でも同じ字を使い回し / 同じ字でも上付き文字などで区別予定
9. tint / 叮当 / 「チンチン」「リンリン」のような金属系の軽やかな音 / 2文字ながら広く知られる擬音語
10. krak / 咔嚓 / パキッ・バキッ・パチッと折れるような音 / やや画数多いがクリック音などにも使われる定番擬音
11. susur / 沙沙 / さらさら・ザワザワという軽い摩擦音 / 「沙」を重ねる形で擬音語としてよく用いられる
12. sibl / 嘶嘶 / シューシュー、蛇のような「ヒス音」を表す擬音 / 「嘶」はやや画数が多いが中国語ではヒス音・馬のいななき等も表す
13. ŝmac / 啵啵 / キス音や小さな“チュッ”の擬音に使われる / やや口語的だがイメージしやすい
14. plaŭd / 哗啦 / 水がバシャッと跳ねるような音を表す / 「哗」も比較的使用頻度の高い部類
15. klak / 咔哒 / カチッ、カタッという硬質なクリック音 / 「咔」を再利用し、「哒」で動作音を表す
16. raŭk / 沙哑 / かすれ声・しわがれ声を表す標準的な2文字熟語 / 「沙」を再利用
17. flustr / 耳语 / ささやく＝耳元で話す意味 / 「耳」「语」はどちらも汎用性が高く学習コストを抑えやすい
18. zum / 嗡嗡 / ブンブンと鳴る虫や機械の音 / 同じ字を重ねることで擬音を表す典型例
19. muĝ / 吼 / うなる・咆哮するイメージを1文字で表現 / シンプルかつ意味が分かりやすい
20. amnesti / 大赦 / 「大きく赦す」で大赦を直截に表す熟語 / 「大」は再利用、「赦」は新出だが比較的意味が連想しやすい
21. venĝ / 复仇 / 復讐・報復を表す / 2文字ともよく使われる漢字で学習コストは比較的低い
22. kompens / 补偿 / 補償・賠償の意味をもつ一般的な書き方 / いずれも日常的によく登場する字
23. konsol / 安慰 / 慰める・安心させる、という意味を直感的に示す / 「安」は他でも使いやすい
24. kompat / 可怜 / 哀れむ・同情するの意 / 「可」は基本字で、「怜」も比較的認知度は高い

### ****1) pardon****

提案: 恕  
理由: 「恕」は「許す・赦す」の意味をもつ単漢字。「原諒」「饒恕」「寛恕」などにも使われ、日中双方で「許し」を連想しやすい。  
学習コスト: やや画数(9画)はあるが1文字ですみ、他の「寛恕」「寛容」などにも再利用可能。

### 2) indulg

提案: 宽  
理由: 簡体字「宽」は「寛大である・寛容である」を表し、英語の “lenient” に近い。単独で「寛大」という意味合いも含む。  
学習コスト: 「宽恕」「宽容」などの熟語でも頻出。日本語の「寛」の簡体字であり、再利用可能性が高い。

### 3) kondolenc

提案: 哀  
理由: 「哀」は「哀悼」「悲哀」などに使われる悲しみ・哀悼を示す字で、弔意・お悔やみを連想しやすい。  
学習コスト: 画数(9画)はそこそこだが、「哀悼」「哀傷」など広く使われる字で、後述の “lament” とも兼用可能。

### 4) bedaŭr

提案: 歉  
理由: 「歉」は「申し訳ない・残念・詫びる」というニュアンスの単字（「道歉」「抱歉」など）。“I’m sorry / regret” に通じる。  
学習コスト: 10画と少し多めだが、「抱歉」「歉意」などで頻出し、日本語の「歉」は「詑(けん)」としてあまり一般的ではないものの、「申し訳なさ」のイメージはつかみやすい。

### 5) pent

提案: 悔  
理由: 「后悔」「悔改」など、「後悔する・悔い改める」を表す代表的な字。日本語でも「悔やむ」「悔いる」で通じる。  
学習コスト: 9画だが、「懊悔」「后悔」など頻出語に含まれるため比較的覚えやすい。

### 6) domaĝ

提案: 惜  
理由: 「惜」は「惜しむ・もったいない・大事にする」の意味。「吝惜」「爱惜」などにも用いられ、費用・時間などを惜しむニュアンスに合致。  
学習コスト: 11画だが、日本語の「惜しい」「惜しむ」とほぼ同形で日中双方に馴染みがある。

### 7) funebr

提案: 丧  
理由: 簡体字「丧」（日本語の「喪」に相当）は「喪失・喪服・喪に服す」などの意味を持ち、葬儀・喪中・喪の状態を直接連想できる。  
学習コスト: 8画と比較的少なく、「丧礼」「丧服」などで使用頻度も高い。

### 8) sufer

提案: 苦  
理由: 「苦」は「苦しむ・つらい・痛む」を表し、エスペラント “suferi” の「苦痛に耐える」イメージを簡潔に示せる。  
学習コスト: 8画で比較的覚えやすく、日本語でも「苦しい」「苦痛」「苦労」など馴染み深い。

### 9) toler

提案: 忍  
理由: 「忍」は「我慢する・堪える」という意味合いを強く持ち、toleri（耐える・堪える）に近い。  
学習コスト: 7画と画数が少なく、日本語にも「忍ぶ」「忍耐」という形で存在し分かりやすい。

### 10) plend

提案: 诉  
理由: 「诉」は「訴える・不満を言う・苦情を述べる」という意味があり、「控诉」「诉苦」など“complain”に近い使い方をする。  
学習コスト: 簡体字で5画と非常に少なく、日中ともに「訴」の簡体形として推測しやすい。

### 11) lament

提案: 哀  
理由: 「lament」は「嘆き悲しむ」という意味。既出の「kondolenc(哀)」と同じ字を使い回すことで学習コストを低減。  
学習コスト: 同じ「哀」を充て、区別は後の振り仮名や上付き文字等で対応予定。

### 12) kares

提案: 抚  
理由: 「抚」は「撫でる・さする・愛撫する」意味（「抚摸」「安抚」など）。caress のニュアンスに合致。  
学習コスト: 8画で比較的少なく、愛撫系の単語として再利用可。

### 13) dorlot

提案: 宠  
理由: 「宠」は「寵愛する・甘やかす」を表し、「宠爱」「宠物（ペット）」など“to spoil, pamper”の意味領域にぴったり。  
学習コスト: 8画で覚えやすく、「宽」「宠」など同じ「宀」部首の字をまとめて学習できる。

### 14) kis

提案: 吻  
理由: 「吻」は「口づけ・キス」という直接的意味を持つ単漢字。  
学習コスト: 7画で比較的単純。「亲吻」「接吻」など派生語も多い。

### 15) brak/um##

提案: 抱  
理由: 「抱」は「抱く・抱える」意味。「拥抱」で「抱擁（hug, embrace）」となり、“brakumi”と対応しやすい。  
学習コスト: 8画。「抱歉」「怀抱」など他の語でも使われ、学習転用しやすい。

### 16) riverenc

提案: 礼  
理由: 「礼」は「礼儀」「礼をする」などで「頭を下げる・お辞儀する」という所作を連想しやすい。  
学習コスト: 5画と少なく、挨拶・儀礼などにも転用が可能。

### 17) salut

提案: 礼  
理由: 挨拶・敬礼のニュアンス。既出の「riverenc」と同じく「礼」を使い回して学習コストを削減。  
学習コスト: 同字再利用につき、新規習得不要。

### 18) kompliment

提案: 赞  
理由: 「赞」は「称賛・褒める・賛成する」の意。「称赞」「赞扬」などがあり、褒め言葉(お世辞)としてわかりやすい。  
学習コスト: 9画だが、「laŭd（ほめる）」とも共通化できるため重複使用で負担を抑えられる。

### 19) aplaŭd

提案: 拍  
理由: 「拍」は「拍手する・拍子」の意味を担い、clap/applaud に相当。「拍手」で直感的に連想可能。  
学習コスト: 8画で「鼓掌（手を叩く）」「拍子」などにも使われる。

### 20) aklam

提案: 呼  
理由: 「呼」は「呼ぶ・声を上げる」の意味。「欢呼（歓呼）」「呼喊」などで「歓声を上げる」「歓呼する」に相当。  
学習コスト: 8画でそこまで多くなく、日本語の「呼ぶ」と同形。

### 21) ador

提案: 拜  
理由: 「拜」は「拝む・拝礼する」「崇拝する」の意。「崇拜」「礼拜」などで「崇拝・尊敬」ニュアンスを表す。  
学習コスト: 9画。日本語の「拝」とほぼ同じ形で分かりやすい。

### 22) laŭd

提案: 赞  
理由: 「赞」は「称賛する・褒める」の代表格。すでに「kompliment」と同字なので学習コストを削減。  
学習コスト: 新字不要。「褒める」「称える」関連で再利用できる。

### 23) admir

提案: 慕  
理由: 「慕」は「慕う・あこがれる・敬慕する」の意味を持ち、「思慕」「羡慕」(羨慕) など「admire」に近い。  
学習コスト: 14画とやや多いが、日本語でも「慕う」という形で広く認識されている。

### 24) frand

提案: 馋  
理由: 「馋」は「（美味しいものに）目がない・食いしん坊・食を貪る」の意。「嘴馋」（口が肥えている/美食を好む）などに対応。  
学習コスト: 8画。日本語では「饞」の簡体形だが、意味は分かりやすい。

### 25) gust/um##

提案: 尝  
理由: 「尝」は「味わう・試食する」という意味で、英語 “to taste” に相当。  
学習コスト: 9画。「品尝」「尝试」などにも頻繁に用いられ、味見や体験のニュアンスで理解しやすい。

flat

* + 奉承
  + 「おだてる」「へつらう」の意味を最も端的に示す表現の一つ。
  + 2文字ではあるが、いずれも比較的よく使われる常用漢字(簡体字)。「奉」や「承」は他の熟語でも比較的見かけるため、学習コストも許容範囲内。

1. tikl
   * 胳肢
   * 「くすぐる」に近い意味を表す2文字熟語としては比較的通用しやすい。口語では「挠痒痒」などもあるが、字数が増えるため胳肢を採用。
   * 2文字とも日本語圏にはやや馴染みが薄い可能性があるが、他に1文字で「くすぐる」を表す漢字は存在しないため、この形とした。
2. rav
   * 陶醉
   * 「うっとりする」「陶酔する」という意味合いをよく表す常用表現。
   * 2文字だが、ともに比較的一般的な漢字であり、「陶(すえ)」「醉(酔の簡体字)」は日中ともに見かけやすい部類。
3. amuz
   * 逗
   * 「楽しませる」「面白がらせる」「からかう」に近い意味。口語的なニュアンスも含むが、1文字で「人を笑わせる」ニュアンスを比較的よく示す。
   * 単字のため画数もそこまで多くない。学習コストを抑えやすい。
4. ĝu
   * 享受
   * 「楽しむ」「享楽する」の意味として日中ともに通じやすい一般的な二字熟語。
   * 1文字「享」だけではやや抽象的なので、2文字熟語とした。比較的よく用いられる語であり、学習コストは妥当。
5. regal
   * 招待
   * 「もてなす」「ごちそうする」「招く」という意味をシンプルに示す。
   * 「招」「待」ともに頻出度が高く、他の語へ転用もしやすいため学習コストが抑えられる。
6. fest
   * 庆祝
   * 「祝う」「祝賀する」の意。中国語では祝祭や祝い事を「庆祝」と言うのが一般的。
   * 「庆」「祝」はそれぞれ画数も多すぎず、かつ後述(祝福など)で「祝」を再利用しやすい。
7. festen
   * 宴会
   * 「宴会をする」「大勢で酒食を楽しむ」という意味に適した標準的な表現。
   * 「宴」はやや画数があるが、「会」は頻出字であり、二字熟語としても非常に一般的。
8. ovaci
   * 拍手
   * 「大喝采」「拍手喝采」を最も簡潔に表せる。中国語でも「拍手」は「手を打ち鳴らす＝拍手する」の意味で通じる。
   * 「鼓掌」もあるが、こちらのほうが画数が少なく、学習コストを抑えられる。
9. hura

* 欢呼
* 「万歳」「歓呼」「歓声を上げる」に相当し、喜びの声を上げる様子を示す一般的な2文字熟語。
* 「欢」は簡体字(「歓」の簡体形)、「呼」は「叫ぶ」などでも使われる常用漢字で比較的なじみやすい。

1. ben

* 祝福
* 「(を)祝福する」、神の恵みを祈る、といった意味を表す。
* 「祝」はすでに(7)でも使っており、「福」も幸福に関連して頻度が高い。

1. gratul

* 祝贺
* 「お祝いを言う」「(成功や幸運を)祝う」をシンプルに示す2文字熟語。
* 「祝」は既出、「贺」は「賀(が)」の簡体字で比較的頻出。

1. agac

* 烦
* 「イライラさせる」「不快にさせる」「歯が浮くような気分になる」など、軽い苛立ち・不快感を単字で表すにはこれが最適。
* 一文字で画数は10程度とそこそこだが、二字熟語にするよりは学習コストを抑えられる。

1. agoni

* 垂死
* 「死の苦しみ」「臨終の苦しみ」を表すのに適した二字熟語。文字通り「死の間際」の状態。
* 「垂(た)れる」「死」はともに比較的基本的な字であり、意味もつかみやすい。

1. dolor

* 痛
* 「痛み」「苦痛」を直接表す一文字。
* 中国語では「疼」「痛」が主に使われるが、汎用性の高さから「痛」を採用。

1. ĥoler

* 霍乱
* 「コレラ」に相当する病名の定訳。
* 2文字だが、病名としてはこれが標準。やや画数は多いが、他に代替がほぼない。

1. rabi

* 狂犬病
* 「狂犬病」に相当する病名の定訳。
* 3文字だが、中国語でもっとも一般的。「狂」「犬」「病」はいずれも頻度が高く、分解もしやすい。

1. histeri

* 歇斯底里
* 「ヒステリー」の訳語として中国語では最も一般的な表現。
* 4文字かつ画数は多いが、医療・心理用語として定着しており他の短い表現があまり定着していない。

1. radikal

* 激进
* 「急進的な」「過激な」という政治的・思想的な意味を指す場合、中国語では「激进」が一般的。
* 「激」(やや画数多め)＋「进」(簡体字で7画)で2文字構成。

1. akr

* 锋利
* 「鋭い」「刃物などがよく切れる」という物理的な鋭さを示す標準的表現。
* 「锋」は「刀(りっとう)＋丰」、「利」は「禾＋刂」でいずれも構造が分かりやすい。

1. akut

* 锐角
* 幾何学などで「鋭角」の意味を表す場合に最も直接的な2文字表現。
* 他に「急性(病気の急性)」の用法もあるが、幾何学的用法としては「锐角」が定番。

1. serioz

* 严肃
* 「まじめな」「厳粛な」「真剣な」を示す際に中国語でよく使われる。
* 「严」は既に簡体字形(7画)、「肃」(8画)で合わせても画数は抑えめ。

1. sever

* 严厉
* 「厳しい」「容赦がない」「厳格な態度」というニュアンスをもつ常用二字熟語。
* 「严」は(22)と同じ、「厉」は5画と比較的少なく、組み合わせとしても学習しやすい。

1. rigor

* 严格
* 「厳格」「厳密」「厳重」といった「rigor」の概念を端的に表す表現。
* 「严」は既出、「格」は「木＋各」で合計10画。重複利用で学習コストを軽減。

1. sarkasm

* 讽刺
* 「辛辣な皮肉」「サーカズム」「あてこすり」を表す非常に一般的な二字熟語。
* 「讽」は言偏＋「风」の形、「刺」は比較的初級レベルで学ぶ漢字。